

入学試験問題 参考解答集 2024



06 2025 年度 東北芸術工科大学 入学試験一覧（予定）

08 2024 年度入学試験結果データ

17 総合型選抜入学試験〔専願体験型〕

27 実技

28 小論文

36 デッサン

43 水彩画

50 油彩画

59 教科科目

60 英語

69 国語

90 数学

94 教科科目解答

入学者の受け入れ方針（アドミッションポリシー）

東北芸術工科大学は、「藝術立国」という理念のもと、“人と自然を思いやる想像力と、社会を変革する創造力を身につけ、自らの意思で未来を切り開くことができる人材の育成”を教育目標としています。芸術学部及びデザイン工学部の入学選抜では、それぞれの専門領域に即して多面的・総合的に評価するために、次の観点から入学希望者を募集します。

- ①芸術やデザインに興味と熱意を持つ人
- ②高等学校までの学習および経験により培われた基本的な知識を持ち、主体的に学修できる人
- ③社会に興味を持ち、仲間とともに切磋琢磨して成長できる人

芸術学部

芸術は、美を求める純粋な心と知に基づくものであり、人々に夢や希望を与え、新たな価値を生み出す力があります。多様性を学び取る柔軟な姿勢と、自らの創造力や感性を粘り強く磨き続ける意志を身につけ、芸術の力を社会の真の豊かさに向けて活かそうとする入学希望者を求めます。

■文化財保存修復学科

文化財保存修復学科は、次のような能力や態度・資質を備えた入学者を求めます。

- ・文化財を守り伝えるための知識と技術の習得のために努力し続けることのできる人
- ・美術や歴史、そして文化の継承に興味・関心のある人
- ・探究心をもって新しいことに挑戦できる人

■歴史遺産学科

歴史遺産学科は、次のような能力や態度・資質を備えた入学者を求めます。

- ・歴史遺産や地域研究に興味を持ち、自ら問いを立てて、粘り強く取り組める人
- ・調査研究やその発信のための技法習得に意欲的な人
- ・歴史や民俗などの観点から、人びとの日常や考え方を探求したいと考える人

■美術科 日本画コース

美術科日本画コースは、次のような能力や態度・資質を備えた入学者を求めます。

- ・写生を通して画力と表現力を積み重ね、今日の日本画を探究し続けることのできる人
- ・日本画と美術について興味と意欲を持ち続けながら、社会と関わることのできる人
- ・知識と経験を深め、将来、美術を通して広く国内外で活躍したいと考える人

■美術科 洋画コース

美術科洋画コースは、次のような姿勢・資質を備えた入学者を求めます。

- ・絵画制作を通して、自己表現に意欲的に取り組める人
- ・社会問題に興味・関心を持ち、洋画の学修を通じて他者と協働し、社会の課題に取り組める人
- ・変化を楽しみ、柔軟性を持ち、多様なメディアを通して常に自身を磨き続けられる人

■美術科 版画コース

美術科版画コースは、次のような能力や態度・資質を備えた入学者を求めます。

- ・プリントやグラフィックに興味を持ち、熱意を持ってもの作りと向き合える人
- ・版画の学びを通して、多くの人に発信・共有し、表現力を社会に活かしたい人
- ・制作活動のなかで多様性を受け入れ、他者と協働しながら取り組める人

■美術科 彫刻コース

美術科彫刻コースは、次のような能力や態度・資質を備えた入学者を求めます。

- ・ものを作ることが好きで、自己表現に向けて粘り強く努力できる人
- ・自然や素材、ものの成り立ちに関心があり、造形を通して探求したい人
- ・他者とのコミュニケーションや協働を通じて、造形に対する新たな考えや表現を吸収したい人

■美術科 総合美術コース

美術科総合美術コースは、次のような能力や態度・資質を備えた入学者を求めます。

- ・制作プロセスを含めて、美術を広く社会で応用することやそれを教えることに興味があり、その知識を深めたい人
- ・美術を活用したコミュニケーションスキルを身につけ、より多くの人たちと美術を楽しみたいと考える人
- ・ものづくりを通して美術が人間の心身や社会に与える力に関心のある人

■工芸デザイン学科

工芸デザイン学科は、次のような能力や態度・資質を備えた入学者を求めます。

- ・生活に寄り添うモノやコトに興味があり、それを探求し続ける熱意のある人
- ・素材や、技術を生かした製品、作品の制作に興味・関心のある人
- ・モノの機能や成り立ちについて知識を深めたい人

■文芸学科

文芸学科は、次のような能力や態度・資質を備えた入学者を求めます。

- ・物語を考え、自ら生み出す努力を続けられる人
- ・マンガ、ライトノベル、アニメ、ゲームなど、メディアを問わず多様な物語の形態に興味・関心を持つ人
- ・雑誌・単行本を含んだ多様なモノを制作することに興味・関心がある人

デザイン工学部

デザインとは、見た目を装飾するだけではなく、今や「デザイン思考」として、人間社会の改善や進化に必要不可欠な技術となっています。自己表現や趣味にとどまらず、広く社会をイメージし、何のためにデザインを活用するべきなのか、モノやコトに対するデザインを学び、社会に積極参加しようとする入学希望者を求めます。

■プロダクトデザイン学科

プロダクトデザイン学科は、次のような能力や態度、資質を備えた入学者を求めます。

- ・製品をデザインし、その内容を他者に伝えるための技術を向上させる努力を継続できる人
- ・社会が抱える課題とそれらに関わる製品に対して興味・関心のある人
- ・製品のデザインにおいて、他者の意見を傾聴でき、協働することができる人

■建築・環境デザイン学科

建築・環境デザイン学科は、次のような能力や資質を備えた入学者を求めます。

- ・社会や自然環境を注意深く観察し、課題解決にむけて努力し続けることのできる人
- ・リノベーションやまちづくり、ランドスケープ、環境問題に興味・関心があり、地域の課題に取り組みたい人
- ・造形すること、描くこと、作ること、調べるのが好きで、それを建築や環境デザインに応用したい人

■グラフィックデザイン学科

グラフィックデザイン学科は、次のような能力や姿勢、資質を備えた入学者を求めます。

- ・情報の視覚伝達に興味と熱意を持ち、人との関わりに積極的で、社会に目を向けられる人
- ・常に好奇心を持ち、既成概念にとらわれず制作活動に向き合うことができる人
- ・グラフィックデザインを学ぶことに意欲的であり、主体的に努力を続けることができる人

■映像学科

映像学科は、次のような能力や態度、資質を備えた入学者を求めます。

- ・映像表現の多様性とその技術の進化に興味があり、それらを習得する努力ができる人
- ・社会や地域の魅力と課題に関心があり、それらを映像で表現、発信していく意欲のある人
- ・自身の役割を理解し、グループで映像制作や研究を行うことができる人

■企画構想学科

企画構想学科は、次のような能力や態度・資質を備えた入学者を求めます。

- ・「プロジェクトの企画と実践」に向けて努力し続けることのできる人
- ・「企画書の作成」「チームによる活動」に興味・関心のある人
- ・自主性を重視した教育環境で独創的な発想と論理的な思考ができる人

■コミュニティデザイン学科

コミュニティデザイン学科は、次のような能力や態度、資質を備えた入学者を求めます。

- ・持続可能な社会や地域づくりに興味があり、実践したいと考える人
- ・地域の生活者の目線で社会的課題を捉え、その探究・解決に取り組みたい人
- ・地域のために、他者との協働に向けたコミュニケーション手法を学ぶ意欲がある人

2025年度 東北芸術工科大学 入学試験一覧(予定)

		総合型選抜入試【専願体験型】		総合型選抜入試【併願型】		
出願登録期間	2024年9月2日(月)～10日(火)			募集人員	2024年11月11日(月)～22日(金)	募集人員
試験日	10月12日(土)・10月13日(日)・10月14日(祝月) ^{※1} ※学科・コースにより実施日が異なります。				12月8日(日)	
合格発表	11月1日(金)				12月20日(金)	
入学手続締切(第一次) ※入学金納付期限	11月15日(金)				2025年1月10日(金)	
入学手続締切(第二次) ※授業料等納付期限	12月13日(金)				2025年2月14日(金) ※申請により3/25まで延納が可能	
試験会場	山形				山形／東京	
美術科 日本画コース	①体験授業(日本画の写生体験)(300分程度) ・決められたエリア内(学校内)で各自水彩にて風景画を制作する。 ②面接 1グループ2～3人で行う。			58	面接・書類審査※3 ＋ 次から1科目: 「水彩画」※5 「油彩画」※6 「デッサン」	29
美術科 洋画コース	①体験授業(静物油彩)(300分程度) 油彩制作におけるポイントレクチャーを行い、その後グループごとにモチーフを組み、油彩制作を行う。 ②面接 1グループ2～3人で行う。					
美術科 版画コース	①体験授業(イラストレーション制作 or 自画像デッサン制作)(240分程度) 当日にイラストレーション、自画像デッサンのいずれかを選択し制作し、事前レクチャーを行った後、制作を行う。 ※体験終了後、自身の作品のコンセプトや制作を振り返って気付いたことや考えたことを400字程度のミニレポートにまとめ、提出する。 ②面接 個別面接					
美術科 彫刻コース	①体験授業(彫刻制作の体験)(お昼休憩を除いて360分程度) 大学周辺を散策し、収集した自然物やスケッチをもとに各自が自由な発想で粘土を使って立体作品を制作する。 ②振り返り 制作物の意図や感想を発表する。 ③面接 個別面接					
美術科 総合美術コース	①体験授業(アートワークショップ体験)(195分程度) 技法や造形素材を使ったアート技法を体験し、気づきや活動のねらいなどをまとめた後に技法を活用したワークショップイベントを考えて発表する。 ②面接 個別面接					
工芸デザイン学科	①体験授業(立体制作、平面制作 各120分程度) 立体・平面制作の基礎を学ぶ。立体制作では紙造形を基本とし、課題についての考え方、作り方など工程ごとに学び、与えられた条件に沿って制作する。 平面制作では配色に関する前提講義を行った後、配色デザインを行う。デザイン完成後は一人ずつテーマと工夫した点を発表する。 ②面接 個別面接			21	面接・書類審査※3 ＋ 次から1科目: 「小論文」 「デッサン」 「水彩画」※5 「油彩画」※6 「国語」 「数学」 「英語」	11
文芸学科	①体験授業(150分程度)※2 教員による説明を経て、グループ単位でリライト(書き換え)を行い、その内容を発表する。 ②作文 グループワークについて執筆する(600字程度)。 ③面接 個別面接			22		7
文化財保存修復学科	①体験授業(講義30分程度、レポート作成60分程度) 文化財保存修復に関するミニ講義を受講した後、レポートを提出する。 ②面接 個別面接			13		3
歴史遺産学科	①体験授業(講義30分程度、レポート作成60分程度) 歴史遺産に関するミニ講義を受講した後、レポートを提出する。 ②面接 個別面接			13		6
プロダクト デザイン学科	①体験授業(120分程度)※2 身のまわりのプロダクトの形や機能を観察し、優れている点とその理由を考えた上で、改善したい点を見出し、提案シートにまとめる。まとめた提案を他の受験生に発表し、その内容をもとにより良いデザインについて議論する。 ②面接 個別面接			32		13
建築・環境 デザイン学科	①体験授業 2つの講義の受講とレポート作成(合計100分程度) 建築、まち、自然や環境問題に関するミニ講義を受講し、講義の要点や自身の意見をレポートにまとめる。 ②面接 個別面接			20		14
グラフィック デザイン学科	①体験授業(110分程度) デザインに関する模擬授業を受講した後、その授業の内容について発表する。 ②面接 個別面接			40		17
映像学科	①体験授業(合計110分) ・グループワーク(前半30分) 他の受験生とテーマについて話し合い、他者の視点を参考にしながら、自身の発想を広げる。 ・個人ワーク(後半80分) テーマに基づき、ビジュアルと文章[450文字]を用いて企画書を作成する。 ②面接 企画書のプレゼン・個別面接			32		14
企画構想学科	①体験授業(140分程度)※2 ・ミニ講義 次の課題解決型ワークショップの進め方に関する講義を受講する。 ・課題解決型ワークショップ 提示された課題に対して、グループに分かれて企画を考え発表する。 ・振り返りシートの記入 ミニ講義とワークショップを振り返り、整理した内容を記入する。 ②面接 個別面接			26		10
コミュニティ デザイン学科	①体験授業※2 ・ミニ講義(20分程度) 地域で起こっている社会的課題とその事例についての講義を受講する。 ・グループワーク(100分程度) ミニ講義で提示された対象地域の社会課題を解決するアイデアをグループで話し合い発表する。 ・レポート作成(45分程度) グループワークで得られた気づきや発見、自身の意見をレポート用紙に記入する。 ②面接 個別面接			16		6

※1 総合型選抜入試【専願体験型】は第二志望まで出願可能です。なお第二志望まで出願した場合、出願した学科・コースそれぞれで試験が必要なため2日間を要します。

詳細は「東北芸術工科大学 2025 年度 学生募集要項」をご覧ください。

※2 受験者数が少ない場合は、別の試験方法となる場合があります。詳細は「東北芸術工科大学 2025 年度 学生募集要項」をご覧ください。

※3 「書類審査」とは、「高等学校調査書」及び「出願書類」による総合評価です。 ※4 募集人員は、一般選抜入試（前期）、大学入学共通テスト利用入試（1科目利用）及び（2科目利用前期）を合算したものです。

※下記の内容は、2024年4月1日現在の予定です。詳細は、別途発行の「東北芸術工科大学 2025年度 学生募集要項」で必ず確認してください。

一般選抜入試 【前期】	大学入学共通テスト利用 入試【1科目利用】	大学入学共通テスト利用 入試【2科目利用 前期】	一般選抜入試【専願型】	一般選抜入試 【面接型】	一般選抜入試 【後期】	大学入学共通テスト利用 入試【2科目利用 後期】		
2025年1月6日(月)～22日(水)		2025年1月6日(月) ～27日(月)	2025年1月6日(月) ～10日(金)	2025年2月14日(金) ～21日(金)	2025年2月14日(金) ～2月28日(金)			
1月31日(金)		個別試験なし	1月31日(金)	3月14日(金) 接続テスト3/4または3/5 ※9	3月14日(金)	個別試験なし		
2月14日(金)		募 集 人 員 ※ 4	2月14日(金)	3月21日(金)				
2月28日(金)			2月28日(金)	3月25日(火)				
3月7日(金) ※申請により3/25まで延納が可能			3月7日(金)					
山形／東京／札幌／仙台			—	山形	オンライン	山形／東京	—	
次から1科目： 「国語」 「数学」 「英語」 ＋ 次から1科目： 「水彩画」※5 「油彩画」※6 「デッサン」	大学入学共通テストの 成績上位1科目 ＋ 次から1科目： 「水彩画」※5 「油彩画」※6 「デッサン」	—	面接・書類審査 ※3 ＋ 「水彩画」※7 「油彩画」※8 「デッサン」	—	次から1科目： 「水彩画」※5 「油彩画」※6 「デッサン」	—		
①・②のいずれか	大学入学共通テストの 成績上位1科目 ＋ 次から1科目： 「小論文」 「デッサン」 「水彩画」※5 「油彩画」※6	大学入学共通テストの 成績上位2科目	30	7	面接(オンライン) ・書類審査 ※3	次から1科目： 「小論文」 「デッサン」 「水彩画」※5 「油彩画」※6	大学入学共通テストの 成績上位2科目	
			11	①・②・③の いずれか				2
			11	①面接・書類審査 ※3 ＋ 次から1科目： 「小論文」 「デッサン」 「水彩画」※7 「油彩画」※8				2
			8	2				
			11	2				
			15	②面接・書類審査 ※3 ＋ 次から1科目： 「国語」 「数学」 「英語」				2
			14	2				
			9	2				
			14	③面接・書類審査 ※3 ＋ 大学入学共通テスト の成績上位1科目				2
12	2							
6	2							

※5 水彩画を選択する場合は第一志望から第三志望のいずれかで、必ず日本画コースを志望してください。 ※6 油彩画を選択する場合は第一志望から第三志望のいずれかで、必ず洋画コースを志望してください。
※7 一般選抜入試【専願型】で水彩画を選択する場合は第一志望または第二志望で必ず日本画コースを志望してください。
※8 一般選抜入試【面接型】で油彩画を選択する場合は第一志望または第二志望で必ず洋画コースを志望してください。
※9 一般選抜入試【面接型】はオンラインで実施するため、試験日の前にインターネットの通信接続環境の確認および Zoom の動作確認のための「接続テスト」を行います。
詳細は「東北芸術工科大学 2025年度 学生募集要項」をご覧ください。

2024年度 入学試験結果データ

総合型選抜入学試験[専願体験型]

学部・学科・コース	募集人員	志願者数	受験者数 (a)	合格者数 (b)	入学者数	受験倍率 (a) / (b)
芸術学部	127	288	286	164	163	1.7
文化財保存修復学科	13	18	18	13	12	1.4
歴史遺産学科	13	20	20	14	14	1.4
美術科	58	165	164	83	83	2.0
日本画コース		31	31	24	24	1.3
洋画コース		63	62	28	28	2.2
版画コース		29	29	10	10	2.9
彫刻コース		14	14	8	8	1.8
総合美術コース		28	28	13	13	2.2
工芸デザイン学科	21	43	42	28	28	1.5
文芸学科	22	42	42	26	26	1.6
デザイン工学部	166	338	338	193	192	1.8
プロダクトデザイン学科	32	75	75	38	38	2.0
建築・環境デザイン学科	20	36	36	26	26	1.4
グラフィックデザイン学科	40	91	91	42	42	2.2
映像学科	32	76	76	40	40	1.9
企画構想学科	26	42	42	32	32	1.3
コミュニティデザイン学科	16	18	18	15	14	1.2
全学計	293	626	624	357	355	1.7

総合型選抜入学試験[併願型]、学校推薦型選抜入試[指定校]、学校推薦型選抜入試[韓国]

学部・学科・コース	募集人員	志願者数	受験者数 (a)	合格者数 (b)	入学者数	受験倍率 (a) / (b)
芸術学部	56	268	257	80	60	3.2
文化財保存修復学科	3	9	9	4	3	2.3
歴史遺産学科	6	12	12	5	5	2.4
美術科	29	185	175	45	32	3.9
日本画コース		39	37	14	9	2.6
洋画コース		55	52	14	9	3.7
版画コース		37	35	3	3	11.7
彫刻コース		17	17	7	5	2.4
総合美術コース		37	34	7	6	4.9
工芸デザイン学科	11	38	37	15	13	2.5
文芸学科	7	24	24	11	7	2.2
デザイン工学部	74	289	281	110	96	2.6
プロダクトデザイン学科	13	47	46	22	19	2.1
建築・環境デザイン学科	14	36	34	21	20	1.6
グラフィックデザイン学科	17	79	77	26	21	3.0
映像学科	14	60	57	17	15	3.4
企画構想学科	10	38	38	13	13	2.9
コミュニティデザイン学科	6	29	29	11	8	2.6
全学計	130	557	538	190	156	2.8

※学校推薦型選抜入試を含む。

一般選抜入学試験[前期]

学部・学科・コース	募集人員	志願者数	受験者数 (a)	合格者数 (b)	入学者数	受験倍率 (a)/(b)
芸術学部	71	179	179	52	16	3.4
文化財保存修復学科	8	19	19	12	6	1.6
歴史遺産学科	11	20	20	8	3	2.5
美術科	30	104	104	24	3	4.3
日本画コース		21	21	11	0	1.9
洋画コース		29	29	7	2	4.1
版画コース		18	18	1	1	18.0
彫刻コース		18	18	3	0	6.0
総合美術コース		18	18	2	0	9.0
工芸デザイン学科	11	22	22	2	1	11.0
文芸学科	11	14	14	6	3	2.3
デザイン工学部	70	249	243	29	9	8.4
プロダクトデザイン学科	15	49	47	6	1	7.8
建築・環境デザイン学科	14	36	35	4	2	8.8
グラフィックデザイン学科	9	59	58	2	2	29.0
映像学科	14	56	54	7	2	7.7
企画構想学科	12	26	26	3	1	8.7
コミュニティデザイン学科	6	23	23	7	1	3.3
全学計	141	428	422	81	25	5.2

※外国人留学生特別選抜入試・シニア特別選抜入試・社会人特別選抜入試を含む。※募集人員は一般選抜(前期)、共通テスト利用入試(1科目利用・2科目利用前期)を合算した募集人員。

一般選抜入学試験[専願型]

学部・学科・コース	募集人員	志願者数	受験者数 (a)	合格者数 (b)	入学者数	受験倍率 (a)/(b)
芸術学部	15	32	31	7	7	4.4
文化財保存修復学科	2	0	0	0	0	-
歴史遺産学科	2	3	3	2	2	1.5
美術科	7	20	19	2	2	9.5
日本画コース		3	3	0	0	-
洋画コース		8	7	2	2	3.5
版画コース		4	4	0	0	-
彫刻コース		2	2	0	0	-
総合美術コース		3	3	0	0	-
工芸デザイン学科	2	3	3	1	1	3.0
文芸学科	2	6	6	2	2	3.0
デザイン工学部	12	42	39	13	13	3.0
プロダクトデザイン学科	2	6	5	2	2	2.5
建築・環境デザイン学科	2	7	6	3	3	2.0
グラフィックデザイン学科	2	12	11	2	2	5.5
映像学科	2	8	8	3	3	2.7
企画構想学科	2	3	3	1	1	3.0
コミュニティデザイン学科	2	6	6	2	2	3.0
全学計	27	74	70	20	20	3.5

大学入学共通テスト利用入学試験〔1科目利用〕

学部・学科・コース	募集人員	志願者数	受験者数 (a)	合格者数 (b)	入学者数	受験倍率 (a) / (b)
芸術学部	71	157	154	54	13	2.9
文化財保存修復学科	8	15	15	11	3	1.4
歴史遺産学科	11	12	12	4	2	3.0
美術科	30	98	96	31	7	3.1
日本画コース		27	26	18	3	1.4
洋画コース		27	27	7	4	3.9
版画コース		15	14	1	0	14.0
彫刻コース		13	13	1	0	13.0
総合美術コース		16	16	4	0	4.0
工芸デザイン学科	11	22	22	3	0	7.3
文芸学科	11	10	9	5	1	1.8
デザイン工学部	70	121	121	22	4	5.5
プロダクトデザイン学科	15	23	23	6	1	3.8
建築・環境デザイン学科	14	14	14	3	0	4.7
グラフィックデザイン学科	9	38	38	2	1	19.0
映像学科	14	28	28	3	0	9.3
企画構想学科	12	10	10	5	2	2.0
コミュニティデザイン学科	6	8	8	3	0	2.7
全学計	141	278	275	76	17	3.6

※募集人員は一般選抜(前期)、共通テスト利用入試(1科目利用・2科目利用前期)を合算した募集人員。

大学入学共通テスト利用入学試験〔2科目利用前期〕

学部・学科・コース	募集人員	志願者数	受験者数 (a)	合格者数 (b)	入学者数	受験倍率 (a) / (b)
芸術学部	71	131	131	46	6	2.8
文化財保存修復学科	8	22	22	12	0	1.8
歴史遺産学科	11	27	27	15	2	1.8
美術科	30	33	33	9	0	3.7
版画コース		7	7	1	0	7.0
彫刻コース		15	15	3	0	5.0
総合美術コース		11	11	5	0	2.2
工芸デザイン学科	11	26	26	3	2	8.7
文芸学科	11	23	23	7	2	3.3
デザイン工学部	70	226	226	27	6	8.4
プロダクトデザイン学科	15	57	57	5	0	11.4
建築・環境デザイン学科	14	40	40	5	0	8.0
グラフィックデザイン学科	9	47	47	3	2	15.7
映像学科	14	42	42	6	2	7.0
企画構想学科	12	22	22	5	2	4.4
コミュニティデザイン学科	6	18	18	3	0	6.0
全学計	141	357	357	73	12	4.9

※募集人員は一般選抜(前期)、共通テスト利用入試(1科目利用・2科目利用前期)を合算した募集人員。

一般選抜入学試験〔後期〕

学部・学科・コース	募集人員	志願者数	受験者数 (a)	合格者数 (b)	入学者数	受験倍率 (a)/(b)
芸術学部	若干名	57	45	16	9	2.8
文化財保存修復学科		4	3	1	1	3.0
歴史遺産学科		3	2	1	0	2.0
美術科		36	30	8	5	3.8
日本画コース		12	9	5	3	1.8
洋画コース		13	13	2	2	6.5
版画コース		4	2	0	0	-
彫刻コース		3	3	0	0	-
総合美術コース		4	3	1	0	3.0
工芸デザイン学科		10	9	5	2	1.8
文芸学科		4	1	1	1	1.0
デザイン工学部		56	50	7	5	7.1
プロダクトデザイン学科		16	15	2	1	7.5
建築・環境デザイン学科		5	4	2	2	2.0
グラフィックデザイン学科		17	16	1	0	16.0
映像学科		10	8	0	0	-
企画構想学科		3	3	0	0	-
コミュニティデザイン学科		5	4	2	2	2.0
全学計		113	95	23	14	4.1

※募集人員は一般選抜〔後期・面接型〕、共通テスト利用入試〔2科目利用後期〕を合算した募集人員。

一般選抜入学試験〔面接型〕

学部・学科・コース	募集人員	志願者数	受験者数 (a)	合格者数 (b)	入学者数	受験倍率 (a)/(b)
芸術学部	若干名	10	5	2	2	2.5
文化財保存修復学科		1	0	0	0	-
歴史遺産学科		1	1	0	0	-
美術科		2	0	0	0	-
日本画コース		0	0	0	0	-
洋画コース		0	0	0	0	-
版画コース		0	0	0	0	-
彫刻コース		2	0	0	0	-
総合美術コース		0	0	0	0	-
工芸デザイン学科		4	2	1	1	2.0
文芸学科		2	2	1	1	2.0
デザイン工学部		21	20	5	4	4.0
プロダクトデザイン学科		7	6	1	1	6.0
建築・環境デザイン学科		5	5	1	0	5.0
グラフィックデザイン学科		1	1	1	1	1.0
映像学科		3	3	0	0	-
企画構想学科		2	2	0	0	-
コミュニティデザイン学科		3	3	2	2	1.5
全学計		31	25	7	6	3.6

※募集人員は一般選抜〔後期〕（面接）、共通テスト利用入試（2科目利用後期）を合算した募集人員。

大学入学共通テスト利用入学試験[2科目利用後期]

学部・学科・コース	募集人員	志願者数	受験者数 (a)	合格者数 (b)	入学者数	受験倍率 (a)/(b)
芸術学部	若干名	28	28	13	2	2.2
文化財保存修復学科		6	6	3	0	2.0
歴史遺産学科		5	5	1	1	5.0
美術科		4	4	2	0	2.0
版画コース		1	1	0	0	-
彫刻コース		2	2	1	0	2.0
総合美術コース		1	1	1	0	1.0
工芸デザイン学科		6	6	3	1	2.0
文芸学科		7	7	4	0	1.8
デザイン工学部		49	49	11	1	4.5
プロダクトデザイン学科		11	11	2	0	5.5
建築・環境デザイン学科		8	8	5	1	1.6
グラフィックデザイン学科		13	13	1	0	13.0
映像学科		11	11	1	0	11.0
企画構想学科		2	2	0	0	-
コミュニティデザイン学科		4	4	2	0	2.0
全学計		77	77	24	3	3.2

※募集人員は一般選抜(後期)(面接)、共通テスト利用入試(2科目利用後期)を合算した募集人員。

全試験区分の総計

学部・学科・コース	募集人員	志願者数	受験者数 (a)	合格者数 (b)	入学者数	受験倍率 (a)/(b)
芸術学部	269	1,150	1,116	434	278	2.6
文化財保存修復学科	26	94	92	56	25	1.6
歴史遺産学科	32	103	102	50	29	2.0
美術科	124	647	625	204	132	3.1
日本画コース		133	127	72	39	1.8
洋画コース		195	190	60	47	3.2
版画コース		115	110	16	14	6.9
彫刻コース		86	84	23	13	3.7
総合美術コース		118	114	33	19	3.5
工芸デザイン学科	45	174	169	61	49	2.8
文芸学科	42	132	128	63	43	2.0
デザイン工学部	324	1,391	1,367	417	330	3.3
プロダクトデザイン学科	62	291	285	84	63	3.4
建築・環境デザイン学科	52	187	182	70	54	2.6
グラフィックデザイン学科	68	357	352	80	71	4.4
映像学科	62	294	287	77	62	3.7
企画構想学科	50	148	148	59	51	2.5
コミュニティデザイン学科	30	114	113	47	29	2.4
全学計	593	2,541	2,483	851	608	2.9

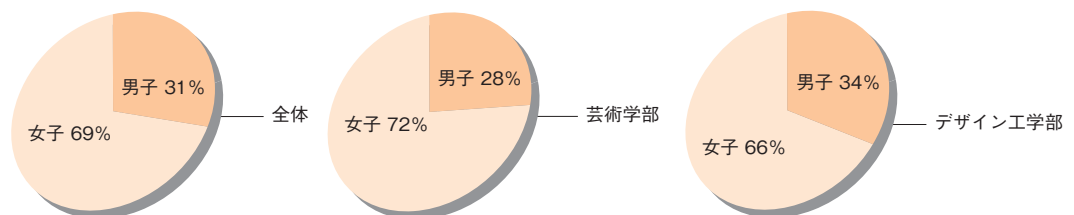
男女別結果(全試験区分の総計)

学部・学科	志願者			受験者			合格者			入学者		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
芸術学部	377	773	1,150	372	744	1,116	128	306	434	77	201	278
文化財保存修復学科	18	76	94	18	74	92	5	51	56	3	22	25
歴史遺産学科	46	57	103	46	56	102	28	22	50	14	15	29
美術科	197	450	647	194	431	625	50	154	204	30	102	132
工芸デザイン学科	40	134	174	39	130	169	11	50	61	9	40	49
文芸学科	76	56	132	75	53	128	34	29	63	21	22	43
デザイン工学部	578	813	1,391	566	801	1,367	140	277	417	113	217	330
プロダクトデザイン学科	141	150	291	138	147	285	36	48	84	28	35	63
建築・環境デザイン学科	96	91	187	93	89	182	28	42	70	25	29	54
グラフィックデザイン学科	113	244	357	111	241	352	17	63	80	15	56	71
映像学科	149	145	294	145	142	287	31	46	77	23	39	62
企画構想学科	42	106	148	42	106	148	13	46	59	12	39	51
コミュニティデザイン学科	37	77	114	37	76	113	15	32	47	10	19	29
計	955	1,586	2,541	938	1,545	2,483	268	583	851	190	418	608

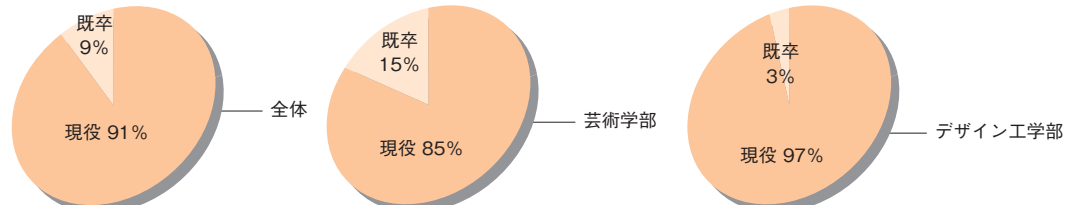
現役既卒別結果(全試験区分の総計)

学部・学科	志願者			受験者			合格者			入学者		
	現役	既卒	計	現役	既卒	計	現役	既卒	計	現役	既卒	計
芸術学部	911	239	1,150	882	234	1,116	336	98	434	236	42	278
文化財保存修復学科	75	19	94	74	18	92	49	7	56	23	2	25
歴史遺産学科	80	23	103	80	22	102	38	12	50	27	2	29
美術科	499	148	647	480	145	625	153	51	204	110	22	132
工芸デザイン学科	151	23	174	146	23	169	49	12	61	40	9	49
文芸学科	106	26	132	102	26	128	47	16	63	36	7	43
デザイン工学部	1,196	195	1,391	1,173	194	1,367	388	29	417	320	10	330
プロダクトデザイン学科	258	33	291	252	33	285	77	7	84	61	2	63
建築・環境デザイン学科	170	17	187	165	17	182	67	3	70	53	1	54
グラフィックデザイン学科	303	54	357	298	54	352	76	4	80	68	3	71
映像学科	242	52	294	236	51	287	72	5	77	61	1	62
企画構想学科	126	22	148	126	22	148	53	6	59	49	2	51
コミュニティデザイン学科	97	17	114	96	17	113	43	4	47	28	1	29
計	2,107	434	2,541	2,055	428	2,483	724	127	851	556	52	608

入学者構成比
(男女別)



入学者構成比
(現役・既卒別)



都道府県別結果(全試験区分の総計)

地方	都道府県名	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
北海道	北海道	101	98	35	24
東北	青森県	52	52	20	15
	岩手県	113	110	47	40
	宮城県	504	500	175	142
	秋田県	75	75	24	18
	山形県	535	535	194	162
	福島県	195	195	76	61
	東北計	1,474	1,467	536	438
関東	茨城県	94	89	31	21
	栃木県	69	69	24	12
	群馬県	35	32	9	3
	埼玉県	50	49	18	10
	千葉県	48	45	16	9
	東京都	90	87	31	15
	神奈川県	56	56	21	8
	関東計	442	427	150	78
中部	新潟県	192	186	40	21
	富山県	14	11	4	2
	石川県	8	8	4	2
	福井県	7	7	2	1
	山梨県	16	16	3	2
	長野県	36	33	10	5
	岐阜県	6	6	3	1
	静岡県	42	40	11	6
	愛知県	16	13	6	1
	三重県	3	0	0	0
	中部計	340	320	83	41

地方	都道府県名	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
近畿	滋賀県	0	0	0	0
	京都府	6	0	0	0
	大阪府	0	0	0	0
	兵庫県	6	5	0	0
	奈良県	11	11	1	1
	和歌山県	0	0	0	0
	近畿計	23	16	1	1
中国	鳥取県	0	0	0	0
	島根県	3	3	2	0
	岡山県	22	22	7	5
	広島県	4	1	1	1
	山口県	9	9	2	0
	中国計	38	35	12	6
四国	徳島県	6	6	0	0
	香川県	0	0	0	0
	愛媛県	12	12	5	3
	高知県	0	0	0	0
	四国計	18	18	5	3
九州	福岡県	7	7	3	0
	佐賀県	0	0	0	0
	長崎県	1	1	1	1
	熊本県	0	0	0	0
	大分県	2	2	1	1
	宮崎県	0	0	0	0
	鹿児島県	14	14	3	2
	沖縄県	30	27	10	7
	九州計	54	51	18	11
検定		27	27	7	5
海外		24	24	4	1
専修学校		0	0	0	0
合計		2,541	2,483	851	608

入学者構成比(都道府県別)

北海道 24名 3.9%

東北 438名 72.0%

中部 41名 6.7%

中国 6名 1.0%

検定等 5名 0.8%

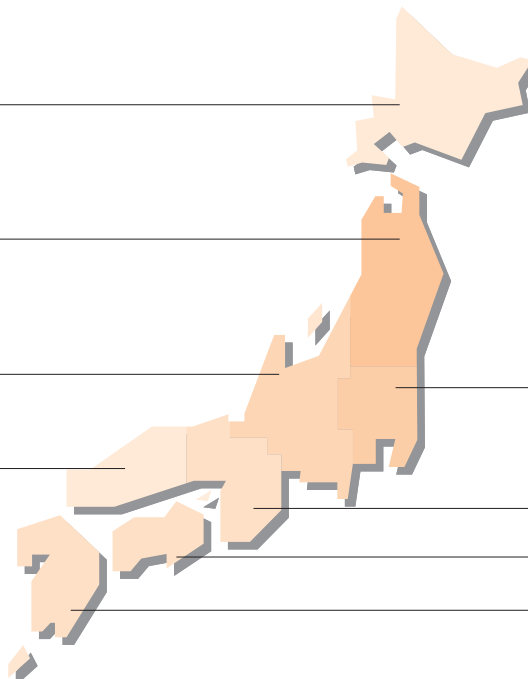
海外 1名 0.2%

関東 78名 12.8%

近畿 1名 0.2%

四国 3名 0.5%

九州 11名 1.8%



志願者出身高校一覧(全試験区分)

北海道
札幌藻岩、函館西、小樽潮陵、小樽桜陽、長沼、旭川東、おといねっぴ美術工芸、北見北斗、大空、室蘭栄、釧路湖陵、北広島、登別青嶺、札幌平岸、札幌厚別、札幌稲雲、札幌平岡、函館、北海、札幌大谷、札幌創成、遺愛女子、函館ラ・サール、北海道大谷室蘭、帯広大谷、札幌日本大学、クラーク記念国際、星槎国際、池上学院、北海道芸術

青森県
青森、青森中央、弘前、弘前南、八戸北、五所川原、三本木、田名部、八戸商業、黒石、弘前学院聖愛、青森明の星、八戸学院光星、八戸工業大学第二

岩手県
盛岡第三、盛岡第四、盛岡北、盛岡工業、花巻北、花北青雲、黒沢尻北、水沢、金ヶ崎、一関第一、大東、大船渡、遠野、大槌、宮古、福岡、盛岡市立、盛岡南、不来方、久慈東、岩谷堂、岩手、江南義塾盛岡、盛岡中央、一関修紅、一関学院、専修大学北上、花巻東

宮城県
仙台第一、仙台第二、仙台第三、仙台向山、古川、角田、築館、佐沼、白石、石巻、塩釜、名取、泉、多賀城、宮城第一、仙台二華、仙台三桜、石巻好文館、古川黎明、涌谷、登米、小牛田農林、黒川、工業、古川工業、気仙沼向洋、仙台南、仙台、仙台工業、名取北、泉松陵、仙台西、泉館山、宮城広瀬、利府、仙台東、富谷、宮城野、東松島、仙台青陵、気仙沼、仙台育英学園、東北学院、東北学院榴ヶ岡、宮城学院、尚綱学院、常盤木学園、聖和学園、東北生活文化大学、仙台大学附属明成、聖ウルスラ学院英智、仙台城南、古川学園、東陵、飛鳥未来きずな

秋田県
秋田北、秋田工業、大館鳳鳴、能代、本荘、由利、西目、大曲、大曲農業、横手、横手城南、湯沢、秋田明德館、秋田西、新屋、横手清陵学院、能代松陽、能代科学技術、ノースアジア大学明桜、国学館、秋田令和、秋田公立美術大学附属、上記以外の高等学校等

山形県
山形東、山形南、山形西、山形北、山形工業、山形中央、山形市立商業、天童、寒河江、寒河江工業、谷地、左沢、東桜学館、新庄北、新庄南、米沢興譲館、米沢東、米沢工業、米沢商業、置賜農業、高畠、長井、鶴岡南、鶴岡北、酒田東、酒田西、遊佐、南陽、上山明新館、霞城学園、鶴岡中央、酒田光陵、村山産業、東北文教大学山形城北、山形学院、日本大学山形、山形明正、創学館、慊山、東海大学山形、新庄東、九里学園、米沢中央、基督教独立学園、羽黒、鶴岡東、和順館、酒田南

福島県
橋、福島西、福島工業、伊達、安達、安積、安積黎明、郡山東、須賀川桐陽、白河旭、会津、葵、会津学鳳、喜多方、只見、磐城、磐城桜が丘、いわき総合、相馬、相馬総合、原町、郡山、福島東、いわき光洋、光南、郡山萌世、福島(私立)、福島成蹊、桜の聖母学院、尚志、日本大学東北、東日本国際大学附属昌平、会津若松ザベリオ学園、いわき秀英

茨城県
水戸第一、水戸第二、水戸第三、緑岡、水戸商業、笠間、土浦第一、取手第一、下妻第一、古河第一、水戸桜ノ牧、取手松陽、古河、明秀学園国立、常磐大学、水戸啓明、水城、茗溪学園、常総学院、水戸葵陵、鹿島学園、翔洋学園、第一学院、高萩校、ルネサンス、S

栃木県
宇都宮、宇都宮女子、宇都宮中央女子、鹿沼、栃木女子、壬生、足利、烏山、大田原女子、那須拓陽、黒磯、矢板東、宇都宮北、小山西、さくら清修、作新学院、宇都宮短期大学附属

群馬県
前橋南、前橋清陵、高崎女子、太田女子、前橋西、太田東、館林商工、高崎経済大学附属、伊勢崎、四ツ葉学園、東京農業大学第二、樹徳、明和県央

埼玉県
春日部、浦和西、戸田翔陽、川越工業、越谷南、草加南、大宮光陵、芸術総合、叡明、大宮開成、武南、開智、自由の森学園

千葉県
千葉女子、千葉北、松戸(県立)、我孫子、長生、安房、千葉(市立)、稲毛、東葉、麗澤、東京学館船橋、中央国際

東京都
東京大学教育学部附属、園芸、小山台、工芸、立川、三田、武蔵丘、六本木、立川国際、総合芸術、共立女子、中央学院大学中央、東京女子学園、明治学院、関東国際、富士見丘、桐朋女子、獨協、潤徳女子、品川翔英、青稜、十文字、城西大学附属城西、淑徳、八王子学園八王子、白梅学園、NHK学園、成蹊、明星学園、国際基督教大学、多摩大学附属聖ヶ丘、上記以外の高等学校等

神奈川県

川和、松陽、横須賀（県立）、横須賀大津、麻溝台、厚木東、横須賀総合、横浜国際、相模原弥栄、関東学院、橘学苑、桐蔭学園、横浜学園、山手学院、鎌倉女学院、鹿島山北

新潟県

新潟、新潟中央、新潟南、新潟江南、新潟西、巻総合、新発田、新津、五泉、長岡、長岡大手、長岡工業、見附、三条、三条東、六日町、高田北城、佐渡、新発田南、長岡向陵、村上、燕、直江津、佐渡、高志、新潟明訓、新潟青陵、北越、中越、敬和学園、新潟第一、東京学園新潟

富山県

富山北部、高岡、高岡工芸、呉羽

石川県

金沢二水、穴水、小松明峰

福井県

羽水、福井工業大学附属福井

山梨県

甲府東、日本航空

長野県

長野東、上田染谷丘、諏訪二葉、白馬、中野西、須坂創成、松本第一、エクセラン、さくら国際、I D 学園

岐阜県

大垣東、本巢松陽、中京

静岡県

沼津東、沼津西、清水南、静岡東、浜松工業、富士東、伊豆中央、小山、科学技術、駿河総合、東海大学付属静岡翔洋、聖隷クリストファー

愛知県

豊丘、菊里、桜台、富田、日進西

三重県

いなべ総合学園

京都府

峰山

兵庫県

香住、姫路飾西、啓明学院

奈良県

飛鳥未来

島根県

松江南、隠岐、キリスト教愛真

岡山県

岡山朝日、津山、津山東、総社南、岡山県美作、鹿島朝日

広島県

因島、山陽

山口県

松陰

徳島県

徳島市立

愛媛県

松山南、松山西、愛光、日本ウェルネス

福岡県

春日、西南学院、九州産業大学付属九州

長崎県

波佐見

大分県

府内

鹿児島県

鹿児島第一、屋久島おおぞら

沖縄県

首里、具志川、浦添工業、開邦、興南、ヒューマンキャンパス、N

総合型選抜入学試験 [専願体験型]

東北芸術工科大学の総合型選抜入学試験[専願体験型]は、一般的な大学入試のように機械的に点数の低い受験者を落とすだけの選抜型とは全く異なり、大学と受験生の相互理解を深め、通常の入試では評価されにくい受験生自身の魅力を評価するものです。選考の際は、「アドミッション・ポリシー」(大学側の求める学生像や受験生の受け入れ方針)やカリキュラムなどを踏まえた上で、ワークショップや体験授業に参加いただきます。

本試験では学ぼうとする意欲や取り組む姿勢、大学教育を受けるために必要な基礎的な学力、思考力、判断力、表現力や協調性など、個々の幅広い魅力と能力を見い出します。加えて、面接を通してあなたが持つたくさんの可能性も評価します。これらを通して、受験時点での実力だけではなく、多角的な視点で受験生一人ひとりと向き合い、選考する点が大きな特徴です。

※事前課題や提出物はありません。

また、本入試では面接時にファイル等の資料や作品を持ち込むことはできません。

※総合型選抜入試[専願体験型]は第二志望まで出願可能です。なお第二志望まで出願した場合、出願した学科・コースそれぞれで受験が必要なため2日間を要します。

※試験の詳細については、必ず「東北芸術工科大学 2025年度 学生募集要項」をご確認ください。



2025年度 学科・コース別 試験内容(予定)

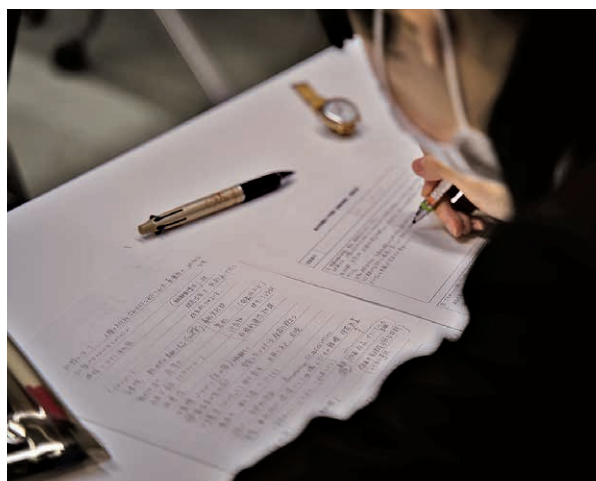
※試験内容に変更が生じる場合があります。また、受験者数が少ない場合は別の試験方法となる場合がありますので、受験の際は、必ず「東北芸術工科大学 2025年度 学生募集要項」をご確認ください。

※掲載写真は昨年度の試験の様子です。

芸術学部

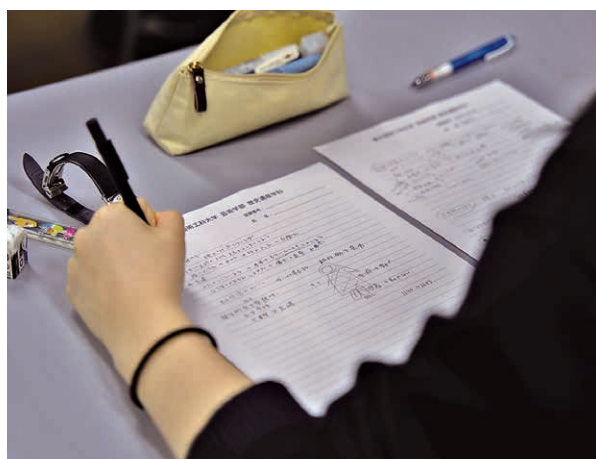
文化財保存修復学科

- ①体験授業(講義30分程度、レポート作成60分程度)
文化財保存修復に関するミニ講義を受講した後、レポートを提出する
- ②面接
個別面接



歴史遺産学科

- ①体験授業(講義30分程度、レポート作成60分程度)
歴史遺産に関するミニ講義を受講した後、レポートを提出する
- ②面接
個別面接



美術科 日本画コース

- ①体験授業（日本画の写生体験）（300分程度）
決められたエリア内（学校内）で各自、水彩にて風景画を制作する
- ②面接
1グループ2～3人で行う



美術科 洋画コース

- ①体験授業（静物油彩）（300分程度）
油彩制作におけるポイントレクチャーを行い、その後グループごとにモチーフを組み、油彩制作を行う
- ②面接
1グループ2～3人で行う



美術科 版画コース

①体験授業(イラストレーション制作or自画像デッサン制作)(240分程度)

当日にイラストレーション、自画像デッサンのいずれかを選択し、事前レクチャーを行った後に制作を行う

[イラストレーション制作] イラストレーション制作における事前レクチャーを行い、各自がテーマを自由(絵画的表現から絵本・漫画・アニメ表現まで、抽象具象・カラーモノクロ問わず)に設定し、イラストレーションの制作を行う

[自画像デッサン制作] 自画像デッサン制作における事前レクチャーを行い、鉛筆による自画像デッサンの制作を行う

②体験授業を通して気付いたことや考えたことを400字程度のミニレポートにまとめ提出する

③面接

個別面接



美術科 彫刻コース

①体験授業(彫刻制作の体験)(お昼休憩を除いて360分間程度)

大学周辺を散策し、収集した自然物やスケッチをもとに各自が自由な発想で粘土を使って立体作品を制作する

②振り返り

制作物の意図や感想を発表する

③面接

個別面接



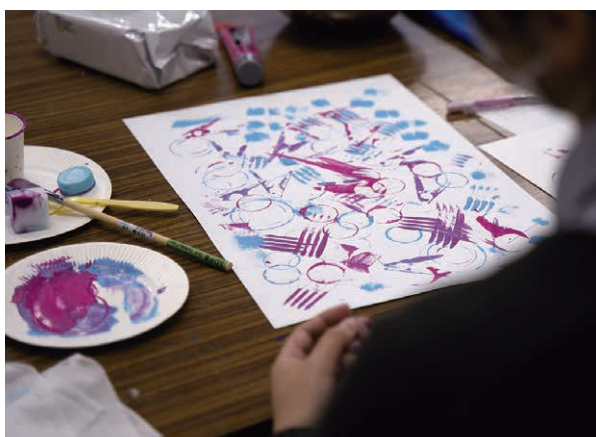
美術科 総合美術コース

①体験授業（アートワークショップ体験）（195分程度）

前半は、モダンテクニックなどの技法や造形素材を使ったアート技法を体験し、気づきや活動のねらいなどをまとめ、その技法を活用したワークショップイベントを考えて各自ワークシートに記入する
後半は、自身が考案したイベントを発表する

②面接

個別面接



工芸デザイン学科

①体験授業（立体制作、平面制作 各120分程度）

立体・平面制作の基礎を学ぶ

立体制作では紙造形を基本とし、工程ごとに学び、条件に沿って制作する

平面制作では配色デザインを行う。デザイン完成後は一人ずつテーマと工夫した点を発表する

②面接

個別面接



文芸学科

①体験授業(150分程度)

教員による説明を経て、グループ単位で昔話をリライト(書き換え)する体験授業を実施し、その内容を発表する

②作文

①で行ったグループワークについて執筆する(600字程度)

③面接

個別面接



デザイン工学部

プロダクトデザイン学科

①体験授業(120分程度)

身のまわりのプロダクトの形や機能を観察し、優れた点とその理由を考える。さらに、そのプロダクトに対して改善したい点を見出し、提案シートにまとめる。まとめた提案を他の受験生に発表し、その内容をもとにより良いデザインについて議論する。

②面接

個別面接



建築・環境デザイン学科

①体験授業(2回合計100分程度／レポート作成を含む)

建築、まち、自然や環境問題に関するミニ講義を受講し、講義の要点や自身の意見をミニレポートにまとめる

②面接

個別面接



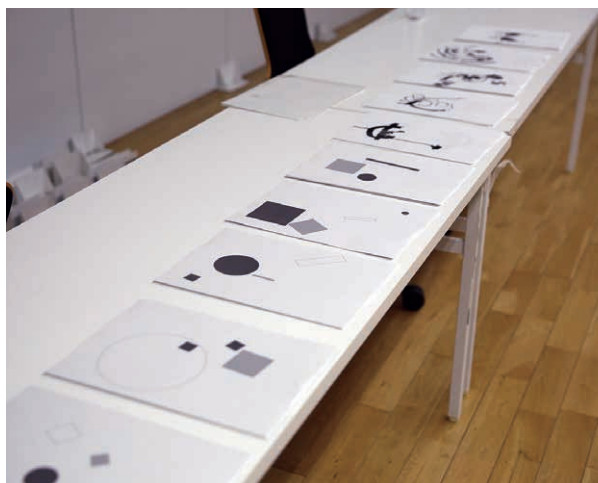
グラフィックデザイン学科

①体験授業(110分程度)

デザインに関する模擬授業を受講した後、その授業の内容について発表する

②面接

個別面接



映像学科

①体験授業(110分程度)

身近なものを世界に情報発信するためのアイデアを考え、企画書としてまとめる

・グループワーク(前半30分)

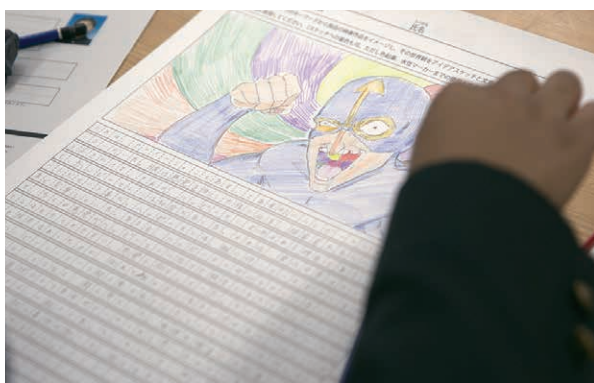
他の受験生とテーマについて話し合い、他者の視点を参考にしながら自身の発想を広げる

・個人ワーク(後半80分)

テーマに基づき、ビジュアルと文章(450文字)を用いて企画書を作成する

②面接

企画書のプレゼン・個別面接



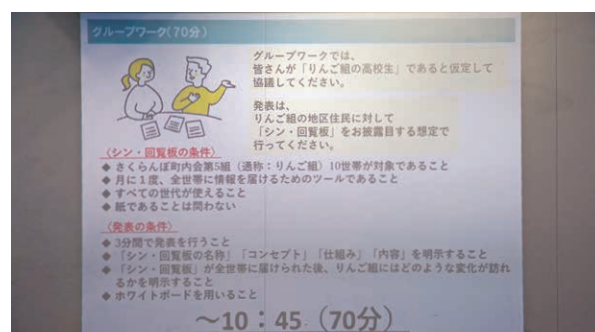
企画構想学科

①体験授業(140分程度)

- ・ミニ講義
課題解決型ワークショップの進め方に関する講義を受講する
- ・課題解決型ワークショップ
提示された課題に対して、グループに分かれて企画を考え発表する
- ・振り返りシート
ミニ講義とワークショップを振り返り、整理した内容を記入する

②面接

個別面接



コミュニティデザイン学科

①体験授業(ミニ講義20分程度、ワークショップ100分程度、レポート45分程度)

- ・地域で起こっている社会的課題とその実例についての講義を受講する
- ・ミニ講義で提示された対象地域の社会課題を解決するアイデアをグループで話し合い発表する
- ・グループで考えたアイデアを発表する
- ・得られた気づきや発見、またそれに対する自身の意見についてレポートを作成する

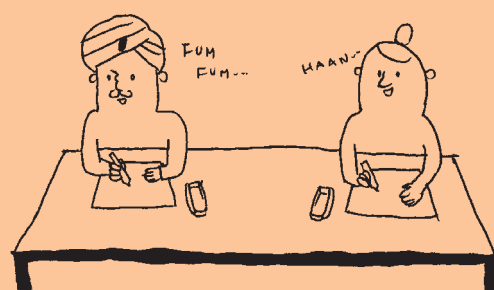
②面接

個別面接



実技

小論文 / デッサン / 水彩画 / 油彩画



出題内容	指定の出題テーマに沿って提示された文章(著作物・新聞記事・コラム等)を読み、その内容に触れつつ自分の考えを600〜800字で述べる
テーマ	「社会と人間」(全入試共通)
評価のポイント	「思考力・判断力・表現力」を評価するため以下のポイントを重視する 文章力：単なる読みやすい文章だけではなく、論理的な文章を書けているか 読解力：課題文で書かれている主題をきちんと理解し、自らの意見を書けているか 構成力：自分の都合のいいように、強引に理屈をこじつけるような説を述べるのではなく、課題文との連続性の中で文章を書けているか 論理展開力：自らの感想や体験にととまらない普遍的な視点により、論理的な考察を行っているか
大学で用意するもの	解答用紙(原稿用紙縦書き)、下書き用紙(A3、2枚)
受験者が用意するもの	鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り

※2025年度の出題概要は、「東北芸術工科大学 2025年度 学生募集要項」をご確認ください。

●アドバイス

小論文は感想文ではありません。書き手が思ったことを素直に書いても、それは感想文にしかありませんし、ましてや誰かの顔色をうかがうような「〇〇はしてはいけないと思います」のような心地よい終わり方をする文章は小論文ではありません。

そうならないために必要な力の一つ目は文章力です。「あーそーゆーことね」と思ったあなた、それは多分違います。わかりやすく読みやすい文章を書くのは当然のことです。入試だからといって特別、要求されるものではありません。そうではなく自らの言いたいことを論理的に伝えるための文章力です。自らの主張のためにどのような語句を使えば良いのか。一文内の構成だけではなく、段落内の文章構成、さらには段落ごとの全体構成も含めて考える必要があります。

二つ目は読解力です。例えば課題文で「白米の美味しさ」について述べられているとしましょう。これに対して「ライスペーパーの便利さ」を書いたとしたら、課題文のテーマからは大幅にずれていることになります。もちろん同じ「米」について書いているため、解答者自身は関連する意見を述べている感覚に陥っているのはわかります。しかし課題文の主題を見失っていると読み取れます。

三つ目は構成力になります。「白米の美味しさ」という課題文に対し、「美味しい」「不味い」という対立軸を勝手に構成し、片方の立場で意見を述べるのはベストな選択で

はありません。なぜならまず課題文にその二項対立が書かれているかどうかの確認が必要です。また賛成や反対は誰でもできることで、そこに書き手の力はあまり必要ありません。何より対象に対する思想が二つしかないのは、極めて窮屈な考えです。そうではなく単なる対立軸を越えて、自らの意見を述べる力が試されます。そのためには課題文を踏まえ、自らの意見を論理的に構成し、説得力のある内容を練り上げることになります。

最後は論理展開力になります。感想文にならないためには、客観的な情報をよりどころにした論理的な思考を行い、それらの情報により自らの意見や思想を実証していく必要があります。そのためには数多くの本を読み、ニュースに触れ、知識を増やし、自らの身体での体験・経験をしていかなければなりません。ここで陥りがちなのは、自らの体験をただ書くだけで論理的な主張になると思いつくことです。もちろん皆さんの経験は皆さんの経験として重要です。でも別の人が同じ事象を経験しても、正反対の感慨を抱く可能性もあります。つまり個人の体験を普遍化するためには論理的な力が必要になります。

文章を書く訓練、そのために必要な情報の取得を常日頃から取り組むため、小論文を書く力は一朝一夕で身につくものではありません。逆にいえば皆さんがこれまで生きてきて経験したこと、知識として吸収したことが直接的に表れてきます。その多様な知識に裏打ちされた多様な感性は、入学後も必ず活かされます。

総合型選抜入学試験〔併願型〕

問題

以下の文章は、『毎日新聞』の社説「技術革新と雇用の未来 『働く価値』を尊ぶ社会に」（2023年8月27日付）です。

この文章を読み、「社会と人間」をテーマに自分の考えを、600字～800字でタイトルをつけて自由に論じなさい。

人手不足なのに賃金が上がらない職場がある。人工知能（ＡＩ）の進化に伴い、職を失う人も出るだろう。政府や企業は経済構造の転換や技術革新による変化を的確に見通し、働き手本位の対策を打たなければならない。

物流や建設の現場は、人材難で業務の維持すら難しい。2024年に強化される労働時間規制への対応も迫られる。路線バスの運転手を確保できず、廃止・減便する地域も相次いでいる。

富山県の加越能バスは、この5年で約3割の路線を減らした。運転手不足を補おうと、今春までに6人のバスガイドが大型免許を取得した。入社30年のベテランが、マイクをハンドルに持ち替えて地域の足を担う。

バス事業は00年代初頭の規制緩和で参入が相次ぎ、競争が激化した。投資は車両や座席など集客力を高めるための設備に振り向けられ、人手不足でも賃上げが難しい事業者が多い。他産業よりも賃金が低いのに勤務時間は長く、若者が集まらない。

人手不足でも賃金停滞

ＩＴを活用したビジネスでも、働き手の立場は弱い。飲食宅配のウーバーイーツや通販のアマゾンでは、配達効率を高めるシステムが収益力を左右する。運転手のスキルは評価されにくく、待遇改善が進まない。低賃金や労働災害など不安を抱える働き手は多い。

ネット通販では「送料無料」の表示があふれ、配達という労働の価値が消費者に伝わりにくくなっている。「苦勞して再配達までしているのに、やりきれない。賃金が上がらず、人手が不足する」。業界団体の幹部は嘆く。

デジタル資本主義のひずみといえよう。革新的な技術やビジネスモデルを生み出した少数の人に富が偏在し、格差拡大や貧困などの問題を悪化させた。中間層の厚みが失われ、民主社会の基盤を揺るがす。そうした懸念が、ＡＩの進化で増幅しそうだ。

ダボス会議を主催する世界経済フォーラムは、ＡＩの活用やデジタル化に伴い、この先5年で今の仕事の4分の1が様変わりすると予測する。データ分析など新しい仕事が生まれる一方で、なくなる業務もある。

米国では、脚本家と俳優の労働組合がストライキに突入した。ＡＩが雇用環境を悪化させるとの懸念が広がった。

めだ。

従来なら多数のエキストラを動員し、数日ばかりで撮影した場面でも、ＡＩに表情や動作を学習させれば短時間で動画を作れる。製作費の抑制につながるが、俳優は仕事を奪われる可能性がある。

変化に対応する姿勢は必要だ。技術革新の成果を取り込めば、経済は活性化するだろう。サービスの改善や価格の低下を通じて消費者は恩恵を受ける。働き手も必要なスキルを身につければ待遇を改善できる。

ＡＩの進化に向き合う

一方で、失業や賃下げといった不確実性が高まる。人を道具のように扱い、尊厳を傷つけるような技術の利用は共感を得られない。政府や企業には、働き手が著しい不利益を被らないような手立てが求められる。

ＡＩには偽情報の発信といった弊害がある。民主社会を脅かすリスクへの対策は必要だ。その半面、産業の効率を高めることも間違いない。新しい技術に適応しながら、雇用の質を上げていく。そうした希望の持てる未来の実現に向け、政府や労使、消費者などが議論を重ねるべきだ。

中央大の阿部正浩教授（労働経済学）は「規制の見直しやＩＴの導入が進む中、人材よりも資本への投資が重視され、賃金が上昇しにくくなった職種がある。ＡＩの進化で雇用不安はさらに強まっている。生産性を高めながら働き手を守る仕組みを考えなければならない」と指摘する。

最低賃金の引き上げや長時間労働の是正、労災対策など、働き手を守る仕組みを強化し、技術の進化とのバランスを図る必要がある。社会保障などセーフティネットの整備も欠かせない。

産業競争力の向上を優先し、働き手を犠牲にするようなことがあってはならない。主要国が協調し、ＡＩ利用の倫理や雇用規制などの国際ルールを整備する時だ。

暮らしを豊かにしてこそこの技術である。自身の仕事に誇りを持ち、安心して暮らせる社会を実現できるか。ＡＩ時代の資本主義のあり方が問われている。

注意事項

- 1 大卒で用意するもの
解答用紙（Ａ３ 1枚・原稿用紙縦書き）、下書き用紙（Ａ３ 2枚）
- 2 受験生が用意するもの
鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り

参考解答

今までの技術、これからの技術

デジタル化やAIの進化が進んでいる現代社会。様々な事が今までより便利になり、効率良く回せるようになるだろう。

しかし、その裏で様々な問題も起きている。課題文にもあるように、失われていく仕事や、労働賃金が上がらない事等があげられる。SNSでの絵やイラストの無断での学習も、最近よく耳にする問題だ。

それらの問題とよく似た現象は、以前にも起こっていたように思える。例えば、大量生産、画一化の波に押され、減少していった職人たちの技、伝統的な技術、豊かな経験も、技術の進化、時代の変化により、失われてしまった物だ。

その時と同じように、今、時代が変化する時がきているのだ。

しかし、現代社会、デジタル化が進み便利になっている社会に生きる我々は人の温もりを感じるような手づくりの物を求めていたりもする。デジタルではない、手書きの文字や、今と比べ、決して便利とは言えない昔の物に魅力を感じるのだ。

この思考は非常に矛盾しているが、人は無い物を求めつつも、今ある物を手放そうとはしない生き物なのだ。

そのため、この先、どれほど技術が進もうと、時代が流れていこうが、人々はまた、今までの技術の良さを見い出していくだろう。

これから先の時代を造っていく技術者も、今までの時代を築いてきた技術者も、双方が共存する事ができれば、より良い社会を築いていく事ができるのではないだろうか。

そのためには、それぞれの技術の良さ、悪さを今一度理解し、新たな形で社会に提示しなければならないと私は考える。

評価ポイント

ICTの発展する現代、新技術は既存社会に融合させる点で課題があり、現代社会の社会問題となっている。

解答例は新旧の技術にはそれぞれ良い点と悪い点があると指摘した上で、技術の融合を、新旧の技術を取捨選択するのではなく、新旧の技術を使う人間の融合として捉え、そこに解決を求めている。筆者の二二一の視点であるが、重要な論点であるから、人間の融合に解決を求める理由や事例を挙げられるとさらによくなった。自信を持って論を展開してほしい。産業革命時に立ち戻ることから始まり、全体構成を意識している点は評価される。

一般選抜入学試験〔前期・専願型〕

大学入学共通テスト利用入学試験〔1科目利用〕

社会人特別選抜試験／帰国生特別選抜試験／外国人留学生特別選抜試験

問題

以下の文章は、真戸理恵『個人的なことは社会的なこと』（青土社／2021年）からの抜粋です。この文章を読み、「社会と人間」をテーマに、自分の考えを600字〜800字でタイトルをつけて自由に論じなさい。

若者の生きづらさは財産

「生きづらさ」を抱える若者が多い。

内閣府が実施した二〇二二年度「若者の考え方についての調査」（困難を抱える子ども・若者への支援等に関する調査）によれば、一五歳から一九歳までの若者の五三・八％が「社会生活や日常生活を円滑に送ることができていなかった経験」を持つと認識しているという。これには、不登校、高校中退、ひきこもり、ニートといった状態の経験が含まれている。

「今ときの若者は、打たれ弱い」と見る向きもあるかもしれない。

だが、背景には、安定雇用の切り崩しなどによって、「〇〇していれば、よい人生を送ることができる」という見通しが立ちにくくなった状況がある。学校を卒業しても、仕事があるとは限らない。まじめに働いても、キャリアアップの望みは薄い。余裕をなくした学校や職場は、ときにいじめやハラスメントの温床となる。こうしたライフコースの不透明化は日本だけでなく、先進工業諸国に共通する現象だ。背景を見ずに、若者個人を責める「若者バッシング」は、明らかに的外れだ。

他方で、それを踏まえてなお、日本に暮らす若者の多くが「生きづらさ」を抱えているという現実が残る。これは、マイナスだろうか？ 私は必ずしもそうは思わない。「生きづらさ」は、「こうあるべき」という内面化された規範と実際の自分の間に距離があり、自己イメージがうまく結ばないときに生じるのであり、社会性の証でもある。

例えば、不登校やひきこもりを経験する人は、しばしば「登校すべき・働くべき」という規範意識をもっており、「そうできていない自分」に苦しむ。その「自分はダメだ」という思いが、ますます本人を「次の一歩を踏み出す」ことから遠ざけている場合も少なくない。

ここでポイントになるのは、「苦しみが生まれるのは、規範意識を持っているからこそ」という点だ。人からどう見られるかを気にして、悩む――。それは「生きづらさ」の源泉である一方で、「この社会」の一員として生きるうえで欠かせないものだ。

同じ問題に向き合う他の先進工業諸国では、様子が異なる。例えばフランスでは、高校生の深刻な出席率低下を受け

て、二〇〇九年一〇月に「クラス全体で出席率や成績アップの目標を立て、達成したら、最高で年間一万ユーロの報奨金を支給する」制度が導入された。報奨金は「クラス旅行」「運転免許取得費用」などに使える。背景には、学校からのドロップアウトが暴動などの社会不安につながる、との見方があった。

ここでは、すでに「学校に行かなければならない」との規範意識がないことが前提になっている。このような状態から登校規範や就労規範を持つてもらうのは容易ではないだろう。

そう考えれば、若者の「生きづらさ」は、日本社会の財産だ。「登校や就労に向けて叱咤激励する」必要はない。その重要性を十分にわかっているからこそ、苦しいのだから。これは社会の側が支払うべきコストを個々の若者に転嫁している、とも言える。

むしろ、「生きづらさ」が根付いているうちに、学校や仕事を、多くの若者にとって開かれた、意味あるものにしていくことが大切だ。

そうでなければ、やがて若者は失望し、学校に行かず仕事に就かなくても多くの人が権威を感じない無秩序な社会が訪れるだろう。そうした事態になつてから対応する時間的・経済的コストの言さは、現在の若者の学習・雇用環境の比ではない。生きづらさを抱える若者に敬意を払い、早急に対応していくことが求められる。

注意事項

- 1 大学で用意するもの
解答用紙（A3 1枚・原稿用紙縦書き）、下書き用紙（A3 2枚）
- 2 受験生が用意するもの
鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り

参考解答

「普通」はもういない

私は筆者の「多くの若者が生きづらさを抱えている現実実は必ずしもマイナスでない」という意見に賛成である。

世の中に通用している規範意識「普通」とは一体何であろうか。私自身、よく「普通でいなさい」と言われることがある。普通であるということは、周りの人と同じように立ち振るまうこと、果たしてそれは正しいことなのだろうか。「普通」という概念があるからこそ、周りと自分を比較し、「生きづらさ」を抱えてしまう若者が増加する。今、「普通」という概念を取り払い、誰もが安心して自分のペースで暮らしていける、新しい社会のカタチを形成する必要があると考える。

一つの例として、フリースクールというものがある。何らかの理由で学校へ通えなくなってしまった学生が通う学校だ。多くのフリースクールでは、一般教養を学びつつ、自分の好きなこと、楽しいことを自分のペースで学ぶことができる。私の母はフリースクールの教員であるが、生徒と一緒にバントを組む、祭りを開催するなど、様々なことを生徒と共に楽しんでいる。このように、自分のペースで自分と向き合いながら生きていく。そのような時代が到来しても良いのではないか。

一般の学校では、数学や理科などの知識は教えてくれるものの、生き方の道は一つでないことは教えてもらえない。もちろん、自分の生き方は自分で模索するしかない。しかし、集団社会で「生きづらさ」を感じてしまった時、人生の別ルートを提示してくれる、学校や職場が通いやすい環境を整える、なら社会で対応していけば、「生きづらさ」に苦しむ若者が減少すると考える。今、「普通」という概念は必要ない。日々刻々と変化していく社会で必要なことは、誰もが安心して自分のペースで人生を歩める環境を整えていくことである。

評価ポイント

参考解答は、筆者の意見にただ賛同するのではなく、フリースクールと比べ、自分にとって身近で、具体的に語ることができる対象を選びつつ、「普通」であることを求められる中で「生きづらさ」を抱えてしまう若者をいかに救済すべきかという問いと向き合うものになっています。また、最後に、教育空間や社会がどうあるべきかについても書かれており、論の広がりを感じさせる点が評価されます。

参考解答

補助輪のように

私はまず、文章の始まりである「若者の生きづらさは財産」に驚いた。まさかそうに考えてくれる大人がいるとは思わなかったからだ。そして、私は筆者の意見のような若者たちへの対応をしてもらいたいと考える。何故なら、私も五三・八％側の若者に入るからである。事実、今籍を置いている学校には途中から編入してきたからだ。前の学校で部活動での人間関係やそれに伴う体調不良、勉強の両立に耐えられなくなり、不登校を経て高校三年生の前期を終えて転校をした。受験期であるにもかかわらず転校をしたことや、これまでの不登校期間の長さから、自分の将来や目前だった大学受験をするのかどうかすらも分からなくなってしまうていたし、周囲の人にも言われたからだ。だが幸運なことに在学している学校で立て直すことができ、今回受験することができた。その一番の理由は学校側のサポートがあったからだ。規範意識の中で悩む私を支え、私の思う通りに勉強をさせてくれている。

ただこれは私が転校することができたからこそその現状であって、私に似た問題を抱える若者全員ができるという訳ではない。家庭の事情で転校ができず中退してしまう人、転校先でも上手くいかなかった人がいると思う。国や地域は在学中であれば一部の費用は保障してくれるが、転校や中退となると急に手を離されるように感じた。高校は義務教育ではないからだと思うが、転校を希望する側としては非常に困る。だから私は「社会の側が支払うコスト」として高校の転校後、中退後までを支える対応を更に考えてもらいたいと考える。不安を抱えて規範と自分の違いにさらに悩む若者全員が新たな一歩を踏み出して進み続けることができるようになるまで安定して支え、いつでも取り付けができる手軽な補助輪を打ち出してほしい。

評価ポイント

現代の若者に関する文章が出題されると、若い受験生のみなさんは、自分のことを言われていると感じて、自分語りをしがちです。それが悪いというわけではないのですが、自分語りに終始してしまうと、論拠としては弱いのです。その点、この参考解答は、自分の経験を書きながらも、そこで終わりにせず、自分以外の人々や、社会や、国といったものに目を向けており、発展的な論になっている点が評価できます。

一般選抜入学試験〔後期〕

問題

以下の文章は、アレックス・カー／清野由美著『観光亡国論』（中央公論新社／2019年）からの抜粋です。この文章を読み、「社会と人間」をテーマに、自分の考えを600字〜800字でタイトルをつけて自由に論じなさい。

伝統文化を守っていくには、とるべき選択肢が二つあります。

一つは、昔の様式やしきたりを、そのまま守っていくやり方を選ぶことです。たとえば能楽は、この方法によって、数百年前の芸術様式を現代に息づかせています。ただ、能楽の場合は成功しましたが、昔のままに伝えていくやり方は、時に文化を化石化させ、今を生きる人たちにとって無意味なものにしてしまう恐れがあります。それは、生きているようで、実は生きていない文化の「ゾンビ化」ともいえます。

もう一つが、核心をしっかりと押さえながら、時代に合わせて姿・形を柔軟に変化させていく方法です。これは文化の健全な継承の形ですが、核心への理解がなければ、本質とは異なるモンスターの生む方向へと進んでしまう恐れがあります。前段の「ゾンビ化」に対し、こちらは「フランクエンシユタイン化」といえるそうです。

中国の観光開発では、古い町並みを破壊し、そこに映画セットのような「新しくて古い町」を建設する手法がよく見られます。一見すると歴史的な雰囲気がありますが、素材や形、作り方などは本物の中国文化とは、かけ離れたものです。テーマパークのような「新しくて古い町」を見慣れた観光客は、自国文化であつてさえ、本物とまがい物の区別がつかなくなります。これがフランクエンシユタイン化の持つ脅威です。

京都でもこの数年、町にフランクエンシユタイン化が目立つようになりました。その一つが、外国人観光客を相手にした、安価な着物を扱う小売店やレンタルショップの流行です。

そこで扱っている着物は、本来の着物に比べて色や柄が不自然に明るく、派手なものばかり。生地もポリエステル製などの安っぽいもので、日本の伝統を継承して作られたものではありません。装いにしても、冬に浴衣を着たり、浴衣なのにポリエステル感のある華やかな帯と合わせたりと、奇妙で陳腐なケースが多く見られます。本当の着物文化を知らない外国人は、このようなまがい物でも日本の伝統的な衣装だと錯覚し、喜んで着てはそのまま街を歩き回っています。

ホテルや簡易宿所の建設ラッシュの中、京都の建物空間にも、そのようなフランクエンシユタイン化が忍びこんでい

ます。ある新設のホテルでは、レストランの照明シェードに、逆にした和傘を取り付けていました。デザイナー目線で見ると、和風の新しい解釈なのかもしれませんが、この光景を見て、知り合いの京都人はぞっとしたそうです。なぜなら京都には、家の中で傘を開くことを不吉な印として忌み嫌う文化が今も伝えられているからです。

これらの現象は、日本の文化や伝統に対する観光客や事業主の無知、という表面的な問題だけではなく、根本に別の要因があります。それはすなわち、今の日本人が自分たちの伝統の着物や、町家のような空間の継承を放棄したということです。まがい物の着物や逆さの傘は、単純に「デザイナー目線」から生まれたものではなくて、「観光客を喜ばせるために、無理に創造した日本」として、ほかならぬ日本人が作ったものなのです。

日常に本物が息づいていれば、まがい物はすぐに見破られ、安っぽいコピーが氾濫することはありません。たとえば着物のレンタルも、京都で長い歴史を持つ呉服店が手がけているものだつたなら、着物文化の伝承にきちんとつながつたのかもしれませんが。

しかし、残念ながら現在の日本では、いたるところに「文化の空白」が生じてしまっています。そして空白が広がった結果、それを喜ぶフランクエンシユタインが入り込んでしまつた、ということなのでしょう。

注意事項

- 1 大学で用意するもの
解答用紙（A3 1枚・原稿用紙縦書き）、下書き用紙（A3 2枚）
- 2 受験生が用意するもの
鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り

参考解答

現代にこそ必要な心のゆとり

「日本人は伝統・空間の継承を放棄し『観光客のための日本』を創造している」と筆者は主張している。このことを踏まえ、私は現代日本が陥っている状況は、ゆとりがない現代という時代性が投映されたものだと考える。

確かに前近代に比べて、観光業はより広い地域の、あらゆる人に向けたものへと進化を遂げているように思われる。しかし、異文化圏の人間にも理解しやすいように、独自の伝統・空間がより画一化された味気ないものへ移り変わっているとも言え換えられる。例えば、日本文化には壮麗で優美な「雅流」と素朴な「粹」の二つがあると言われるが、出身の文化圏によつては素朴さの良さが理解できないという人もいたろう。だからこそ、より万人に分かりやすくするためにも、京都の着物がより派手に作られるなどの一種の合理化が発生してしまうのだ。

このことの背景にあるのは、観光においてより経済的利益を得ようとする欲望や社会の風潮だと考える。由緒正しい建造物や貴重な遺産など価値の高いものを、我々現代人は経済的な利潤をより多く生み出せるという意味での「価値」があると認識してしまいがちだ。確かに現代の資本主義経済においては価値があるかもしれないが、それこそが文化そのものの本来の価値だとは言えないだろう。歴史的、文化的或いは人類的に価値があると言われるべきなのだ。現代人は経済的成功を追求するあまりに、事物を本質的に捉えるという心の「ゆとり」を失っている、と言える。このことが結果的に伝統・空間に対する不理解に繋がりを、観光客のために画一化・合理化が過度に推し進められることにも繋がってしまうのだ。

現代という時代は誰もが必死に働く時代だ。このような時代を生きる我々に今足りていないのは、本来の価値を理解する心の「ゆとり」であり、正しい文化の継承のためにも今後の我々が求めていくべきものなのだ。

評価ポイント

参考解答は、筆者の主張を「日本人は伝統・空間の継承を放棄し『観光客のための日本』を創造している」とまとめて、その上で自分自身の考える現代日本の状況を論じています。ここでは、ゆとりのない現代日本の社会の時代性と、その背景にある「観光においてより経済的利益を得ようとする欲望や社会の風潮」に及んで文化の価値を論じ、最後にタイトル・文頭に挙げた「ゆとり」に帰着してまとめるなど、よく練られた論者が評価できます。

出題内容	鉛筆によるデッサン モチーフ：日用雑貨と手（片手・両手いずれも可）（全入試共通）
評価のポイント	「思考力・判断力・表現力」を評価するため、以下のポイントを重視する 観察力：形、質、色などモチーフが持っている情報をどれだけ多く得られているか 構成力：モチーフの組み合わせ方、画面にどのように描いているか 描写力：観察して構成したものをしっかり描いてモチーフの特徴が第三者にも判るか
大学で用意するもの	B3画用紙、下書用紙（A3、2枚）
受験者が用意するもの （使用可能用具）	鉛筆デッサン用具一式、カルトン（画板）またはパネル、カルトン用クリップ、フィキサチーフ（定着液は試験終了時に限って使用可） 使用可：鉛筆（シャーペン可）、消しゴム（練り消しゴム含む）、鉛筆削り用具（カッター含む）、デッサンスケール（デスケル）、擦筆、羽ぼうき（製図用ブラシ含む）、はかり棒、定規、ティッシュおよびガゼ（袋から出して使用）

※2025年度の出題概要は、「東北芸術工科大学 2025年度 学生募集要項」をご確認ください。

●アドバイス

モチーフは日用雑貨としてみなさんが日頃から目にしているモノです。普段目にしているモノだからこそ改めてしっかり観察する事から始めてみてください。また、モノと人（手）がどのように接しているのかも観察してみましょう。そして、沢山描いてみるのが大切です。デッサンの評価ポイントは「観察」「構成」「描写」の3つです。この評価ポイントに従って描いてみましょう。

(1) 観察

「観察」のポイントは、モチーフが持っている情報を収集し、それがどういうモノなのかを理解できているか？です。手は骨格や筋肉のつき方など、皮膚の下にある構造を意識することが必要です。各指の太さや長さ、手のひらの大きさ、厚み、手首と腕の長さなど、それぞれの比率も重要なポイントです。また皮膚や爪などの質感表現は、「手らしさ」を表す大切な部分です。日用雑貨も同じように構造的な観察を行ってください。紙コップなどのモチーフは形や比率の正確さが特に重要です。またコップの縁の膨らみや紙の薄さ、持ったときの軽さ、ロープの柔らかさなど、その物らしさを表す部分を見落とさないようにしましょう。

(2) 構成

「構成」のポイントは、モチーフの組み合わせ方、そしてそれを画面にどのように描いているか？です。まず手と日用雑貨の組み合わせ方が重要です。モチーフそれぞれの「らしさ」が出るポーズ、アングル、組み合わせた時に立体的な空間を作れているか等を注意深く確認しましょう。次に画面にどのように配置するかですが、大き過ぎず、小さ過ぎず、画面の余白との関係をしっかり確認して位置を決めましょう。

(3) 描写

「描写」のポイントは、観察し構成したモチーフがしっかり描き込まれているか？です。そのためには光の方向を定め、陰影のつき方に矛盾が起きないようにしましょう。また、モチーフの手前と奥の描き込み密度、鉛筆の濃淡の使い分け、観察や構成から得られた事を整理して描き込むようにしましょう。

総合型選抜入学試験[併願型]

問題

与えられたモチーフと、それを持つ手をデッサンしなさい。なお、手は片手でも両手でも構わない。

モチーフ：リボン



参考解答



評価コメント

画面を無駄なく安定した空間に構成することができました。画面の中心にある親指の丁寧な描き込みにより、空間の近景を見る者にしっかりと意識させ、小指への距離感を表現しています。画面右上からの光を丁寧に観察し、指から手の甲に回り込むシャドウ部分をしっかりと書き込むことで、力強い印象を作り出すことができました。



評価コメント

リボンの結び目が画面の中央で大きな存在感となり、力強い構図を作り出しています。全ての指を曲げて形作った複雑な手の表情を丁寧に描写し、緊張感のあるデッサンとなりました。トップからの光を注意深く観察し、リボンの質感やハイライトとシャドウのコントラストを描き分けて、柔らかな丸みと立体感を表現できています。



評価コメント

画面にうまく構成しているデッサンです。リボンによって奥行き感が出るような持ち方と光に方向をしっかり意識して描かれている点は評価できます。少し手の質感とリボンの質感が似てしまっている点が残念です。光が当たって白くなっている手を描き込むと質の違いが出てより良いデッサンとなります。



評価コメント

横画面に大きく描いていてインパクトのあるデッサンです。手首の曲がり具合やリボンの自然な弛みをうまく画面に入れています。このデッサンで一番のポイントは親指と薬指で持っているリボンの部分ですが、表現は少し弱くなっています。赤いリボンを表すためにもポイントとなる部分を濃い鉛筆でメリハリをつけて描くと良いでしょう。



評価コメント

リボンの持ち方がモチーフらしさを強調する良い構成になっています。またリボンを濃い鉛筆(4Bなど)を使用し表現している為、赤いリボンであることが読み取れます。少し残念な点は中指と薬指の間に通したリボンによって見えなくなっている手の表現が曖昧になっているところです。薬指がもう少し手前に倒れているように描くことが肝心です。見えていないところは特に注意が必要です。

一般選抜入学試験[前期・専願型]

大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用]

社会人特別選抜試験／帰国生特別選抜試験／外国人留学生特別選抜試験

問題

与えられたモチーフと、それを持つ手をデッサンしなさい。なお、手は片手でも両手でも構わない。

モチーフ：クリアカップ



参考解答



評価コメント

全体的に柔らかいタッチでまとめながら、クリアカップの透明感、手の皮膚感、爪の硬質感の違いが意識され丁寧に描き分けられています。カップを変形させることでモチーフの特徴もうまく引き出しています。中指の指先がカップの内側にあるように見えないのが残念な点で、カップのミクロの厚みを意識する必要があります。

評価コメント

回転体であるカップの軸がしっかりと捉えられ、縁や段差に細かく注意を払いながら周り込みが丁寧に描写されています。親指で押したカップの歪みも反射の光によってうまく表現できています。カップの向こう側が屈折して見える特徴を掴み、特に人差し指の配置と描写にこだわることでモチーフの魅力を引き出しています。





評価コメント

透明なモチーフを演じ、それによって現れる光の反射を利用することで、プラスチックカップ特有の薄さやハリを表現しています。変形させた形状からも元の形状を自然に想像できるほど、細かい観察と正確な描写が行われているのも優れたポイントです。手は躍動感のあるポーズにシワが細かく書き込まれ、モチーフとの質感の違いを明瞭に表現しています。



評価コメント

プラスチックカップをずっと持ち上げたようなポーズにすることで、バランスの良い構図になっています。またこの構成によって、モチーフの軽さが伝わってくるところも優れた点だと言えます。モチーフの透明感や質感はよく観察されていますが、親指周辺のカップの底面や側面の形が不自然です。回転体を正確に描くことでさらに完成度が高まります。

一般選抜入学試験[後期]

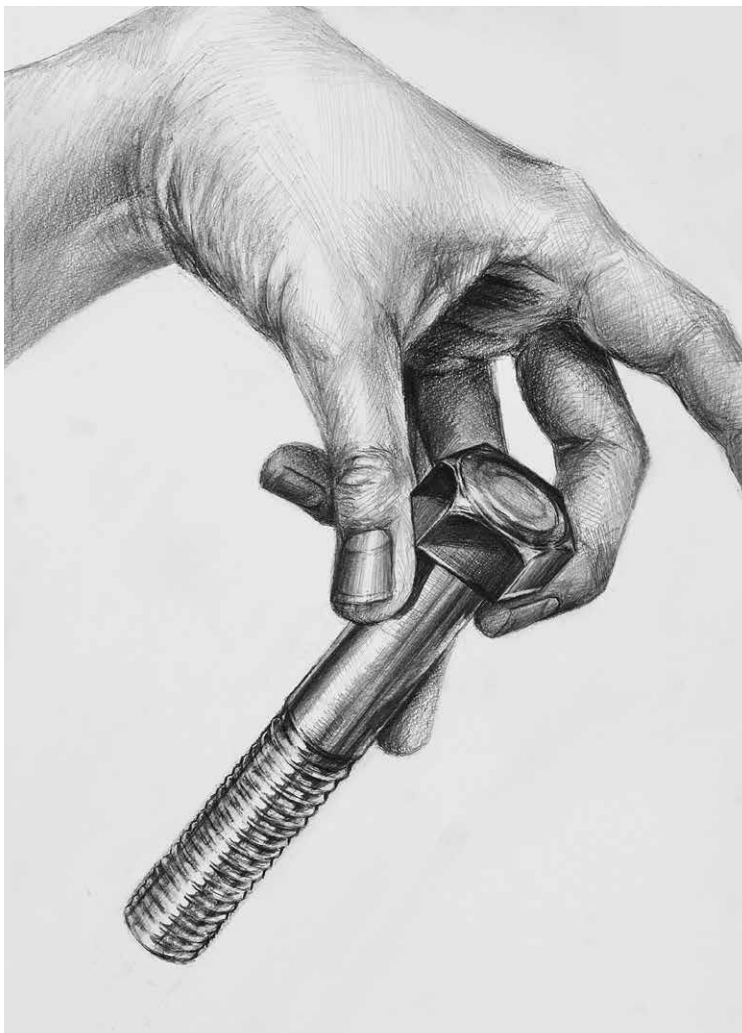
問題

与えられたモチーフと、それを持つ手をデッサンしなさい。なお、手は片手でも両手でも構わない。

モチーフ：ボルトナット



参考解答



評価コメント

製品であるボルトの正確性と手の有機性の対比を狙い、立体的な角度についてよく検討されています。特にボルトは明暗のコントラストをしっかりと出すことで金属の質感と重さを表現し、反射も細かく観察して描写できています。非常に完成度が高いですが、人差し指が画面から切れてしまった点が惜しく、指先を入れることで全体的にもっと引き締まるでしょう。

出題内容	水彩画制作 [試験別モチーフ] ○【12月実施】総合型選抜入学試験[併願型]：果物、野菜、無機物などの静物1～2点 ○【1月及び3月実施】一般選抜入学試験[前期・専願型・後期]／大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用]／社会人特別選抜試験／帰国生特別選抜試験／外国人留学生特別選抜試験：花、果物、野菜、無機物などの静物を数点
評価のポイント	「思考力・判断力・表現力」を評価するため、以下のポイントを重視する ○【12月実施】総合型選抜入学試験[併願型]：果物、野菜、無機物などの静物1～2点 描写力(技術)：対象から得た情報を個々の技術でいかに再現出来ているか 観察力：対象の形態、質感、色をどれだけ捉えることが出来ているか 発想力(独自の視点)：画面上において、対象から得た情報を独自の視点で解釈、表現出来ているか 表現力(色彩表現)：色彩を用いて対象の魅力を表現出来ているか ○【1月及び3月実施】一般選抜入学試験[前期・専願型・後期]／大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用]／社会人特別選抜試験／帰国生特別選抜試験／外国人留学生特別選抜試験：花、果物、野菜、無機物などの静物を数点 描写力(技術)：対象から得た情報を個々の技術でいかに再現出来ているか 観察力：対象の形態、質感、色をどれだけ捉えることが出来ているか 発想力(独自の視点)：画面上において、対象から得た情報を独自の視点で咀嚼、表現出来ているか 構想力(構図)：対象を卓上で組み合わせ、それらを画面上で構築することが出来ているか 表現力(色彩表現)：色彩を用いて対象の魅力をいかに表現出来ているか
大学で用意するもの	P12号の水張りパネル
受験者が用意するもの	水彩用具一式、筆洗、鉛筆、消しゴム、鉛筆削り、描画用具

※2025年度の出題概要は、「東北芸術工科大学 2025年度 学生募集要項」をご確認ください。

●総合型選抜入学試験[併願型] 出題のねらい

1月及び3月実施の入試と異なり、限られた数(1～2点)のモチーフで水彩画の試験を行ないます。対象の構造を理解し、どこまで対象に迫ることが出来るのかということが特に重要です。目前の対象をただ写し取るだけでは無く、対象の細部まで丁寧に観察して質感を捉えていこうとする姿勢、また対象の魅力を引き出していく姿勢を重視します。

●総合型選抜入学試験[併願型] アドバイス

対象の構造を理解し、どこまで対象に迫ることが出来るのかということを重視します。形態を捉えることはもちろんのこと、対象の細部まで丁寧に観察して質感を捉えていこうとする姿勢、そして対象の魅力を引き出そうとする姿勢が大切です。絵の具における色彩表現においては、自身の色彩感覚を大切に、積極的に色を探りながら筆で丹念に描くことを心掛けてください。

対象を理解した上で、どのように表現するのかということをお大切にしてください。そのためには日頃から自分が何に心惹かれるのか、何を伝えたいのかということを問い、制作に励んでください。

●一般選抜入学試験[前期・専願型・後期]／

大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用]
社会人特別選抜試験／帰国生特別選抜試験／
外国人留学生特別選抜試験 アドバイス

対象の構造を理解し、どこまで対象に迫ることが出来るのかということを重視します。形態を捉えることはもちろんのこと、対象の細部まで丁寧に観察して質感を捉えていこうとする姿勢、そして対象の魅力を引き出そうとする姿勢が大切です。構想に対しての感覚も評価のポイントです。与えられた対象を用いて、明確な意図を示した構図、構成を期待します。

絵の具における色彩表現においては、自身の色彩感覚を大切に、積極的に色を探りながら筆で丹念に描くことを心掛けてください。

5時間という限られた時間の中で魅力的な画面を作るには、何を主題とするのかをしっかりと見極めて制作することが重要です。対象を理解した上で、どのように表現するのかということをお大切にしてください。そのためには日頃から自分が何に心惹かれるのか、何を伝えたいのかということを問い、制作に励んでください。

総合型選抜入学試験[併願型]

問題

与えられたモチーフを水彩にて描きなさい。

モチーフ：シャンメリー、ブロッコリー



参考解答



評価コメント

モチーフそれぞれの構造を理解した上で、関係性に着目した構図、構成の意図が伝わってきます。また、細部まで丁寧に観察して、魅力を引き出そうとする姿勢が伝わってきます。

色彩表現においても筆で丹念に描きつつ質感まで表現することができています。特にブロッコリーは、複雑な表情に誤魔化されない形態を押さえた上で、瑞々しさや硬さ軟らかさをしっかりと表現することができています。

**評価コメント**

モチーフが画面中央に集まり、重なり合うなど構成にやや難がありますが、モチーフ同士の距離感を大事にしながらそれぞれの特徴を表現しようとする姿勢が見られます。

瓶は形態を理解した上で表情や質感、色彩に至るまで、観察がよくいき届いています。ブロッコリー、パッケージも複雑な表情を筆で丹念に描き、細部まで描き切ることができています。描写、観察における熱意が伝わってきます。

**評価コメント**

高さのある瓶を画面奥に配置し、一方でブロッコリーを手前に大胆に配置する構成に工夫が見られます。

ブロッコリーの複雑な表情に誤魔化されない形態の意識を大事にしながらもしっかり観察し、どっしりとした量感を表現することができています。パッケージも皺を利用しながら特徴ある表情を追うことができています。接地の意識がもう少しですが、対象を捉えようとする熱意が伝わってきます。

一般選抜入学試験[前期・専願型]

大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用]

社会人特別選抜試験／帰国生特別選抜試験／外国人留学生特別選抜試験

問題

与えられたモチーフを水彩にて描きなさい。

モチーフ：カーネーション(赤)1本、カーネーション(ピンク)2本、
デキャンタ、トートバッグ、リンゴ、レモン、バケット



参考解答



評価コメント

花と瓶を中心に据え、台上に置かれた対象との関係性を含めて全体的にバランスよく配置された構成です。花と台上の双方のゆったりとした空間の広がりも感じられる秀作です。

モチーフの特徴をしっかりと捉え、自然な表情、質感を表現することが出来ています。色彩表現においても豊かな色彩を表現することが出来ています。対象の細部まで丁寧に観察していこうとする姿勢、対象の魅力を感じ取る感性に好感が持てます。

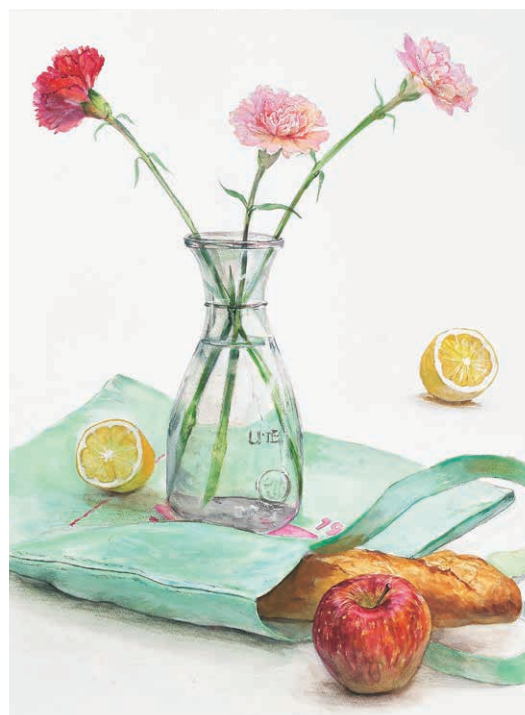


評価コメント

バランス良く構成され、おおらかな空間を表現した秀作です。モチーフ同士の関係性への意識の高さも窺えます。細部まで行き届いた観察と、対象の魅力を引き出そうとする姿勢に好感が持てます。左からの光源も分かりやすく、接地の捉え方も良いでしょう。色彩表現においても筆で丁寧に描き切り、的確な質感を表現することができています。

評価コメント

花、瓶、台上の対象に至るまで、それぞれをしっかりと捉えることができています。構成も吟味され、右からの光の状況が美しく感じられます。それぞれのモチーフの主張が強く、関係性がやや弱く感じられますが、細部まで行き届いた観察は好感が持てます。色彩表現において質感を考えながら筆で丹念に描くことで、対象に迫る気迫みたいなものを感じることが出来ます。





評価コメント

モチーフの配置、重なりがよく吟味された構成です。花と台上の双方のゆったりとした空間の広がりも感じられます。

ガラス器の立体感が弱く感じられますが、それぞれのモチーフの特徴をしっかりと捉え、自然な表情、質感を表現することが出来ています。丁寧に観察していこうとする姿勢、対象の魅力を感じ取る感性に好感が持てます。果物パンと台の影が曖昧なため、接地している面の意識を持って影をしっかりと描いていくとさらに良くなるでしょう。

評価コメント

モチーフそれぞれの構造を理解した上で、光源の状況に着目した構図、構成の意図が伝わってきます。細部まで行き届いた観察と、対象の魅力を引き出そうとする姿勢に好感が持てます。左からの光源も分かりやすく、接地の捉え方も良いでしょう。色彩表現においても筆で丹念に描いていますが、筆の置き方がやや単調なところがあるため、それぞれの質感を感じながら表現していくとさらに良くなるでしょう。



一般選抜入学試験[後期]

問題

与えられたモチーフを水彩にて描きなさい。

モチーフ：アネモネ(赤)2本、アネモネ(白)1本、レモン2個、
長ネギ1本、毛糸、丸い花瓶、箱



参考解答



評価コメント

箱を蓋と中身をあえて分け、独自の視点で構成することが出来ています。構成、配置が吟味され、左からの光源に設定した光の状況が美しく感じられます。

接地が不安定なところが難ですが、様々な表情をよく観察し、描き込むことが出来ています。色彩表現においても花をはじめ的確な色相を捉えつつ、それぞれの特徴を表現しようとする姿勢が伝わってきます。



評価コメント

花と瓶を中心に据え、台に置かれた対象を含めて全体的にバランスよく配置された構成です。花周りの空間の広がりも感じられます。

主役となる花に比べて毛糸の存在感が強いですが、自身の色彩感覚を大切に、細部まで丁寧に観察して描き切っている点に好感が持てます。それぞれの特徴をしっかりと捉え、質感と量感を表現することが出来ています。

出題内容	油彩画制作(アクリル絵の具も可) ○【12月実施】総合型選抜入学試験[併願型]: 静物油彩(F 12号) 器物、ガラス、野菜、果物など複数のモチーフがセッティングされた状況を描く ○【1月及び3月実施】一般選抜入学試験[前期・専願型・後期] / 大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用] / 社会人特別選抜試験 / 帰国生特別選抜試験 / 外国人留学生特別選抜試験: 自画像油彩(F 10号) テーマやモチーフの課題に沿って自画像(自身)を描く
評価のポイント	「思考力・判断力・表現力」を評価するため、以下のポイントを重視する ○【12月実施】総合型選抜入学試験[併願型]: 静物油彩(F 12号) 描画力: 対象の形態、質感、色彩を意識し、しっかり描くことが出来ているか 構成力: 台上に置かれた複数のモチーフを、適度な大きさで画面上にトリミングし、描くことができているか 空間表現: 画面全体のパースペクティブ(遠近感)を把握し、物の前後関係や奥行き、そして背景との繋がりが描かれているか ○【1月及び3月実施】一般選抜入学試験[前期・専願型・後期] / 大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用] / 社会人特別選抜試験 / 帰国生特別選抜試験 / 外国人留学生特別選抜試験: 自画像油彩(F 10号) テーマやモチーフの課題に沿って自画像(自身)を描く 描画力: 対象の形態、質感、色彩を意識し、しっかり描くことが出来ているか 構成力: ポーズやモチーフの画面への入れ方、背景との関係を意識できているか 発想力: 出題テーマやモチーフの魅力を引き出すためのアイデアを思考し、自然に表現できているか 素材の扱い: 油絵具(アクリル絵具)の素材の特性や、筆やナイフなど画材の扱い方を理解し、活かしているか
大学で用意するもの	○【12月実施】総合型選抜入学試験[併願型]: 静物油彩(F 12号): F12号のキャンパス ○【1月及び3月実施】一般選抜入学試験[前期・専願型・後期] / 大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用] / 社会人特別選抜試験 / 帰国生特別選抜試験 / 外国人留学生特別選抜試験: 自画像油彩(F 10号) テーマやモチーフの課題に沿って自画像(自身)を描く: F10のキャンパス、鏡
受験者が用意するもの (使用可能用具)	油彩画用具一式(アクリル絵の具も可)、描画道具

※2025年度の出題概要は、「東北芸術工科大学 2025年度 学生募集要項」をご確認ください。

●アドバイス

「12月実施」「1月及び3月実施」の各試験は、それぞれ出題が異なります。

12月実施の入試は、静物モチーフを油彩で描く課題です。台に布を敷き、自然物や工業製品のモチーフが、どの角度からも同じに観えるよう公平に配置されています。描くときに気を付けてほしい重要なポイントは、台とモノの関係やパースペクティブ、明暗、量感、質感など、基本的なモノの捉え方です。工業製品である瓶やガラス、ブロックなどが正確な比率で描けているか、自然物である野菜や果物、植物がみずみずしく彩り豊かに描けているかなど、モノの形態や特徴、色彩や存在感を意識することが大事です。トリミング(画面を切り取ること)は、モチーフの主役・脇役を考え、全体的に小ぶりにならないように気をつけて下さい。その際に背景の面積の空きすぎにも注意しましょう。モチーフは切れ方や配置が不自然にならないように、大きさや前後関係を考えながら画面の中で多少移動しても構いません。水平の台にモノが安定して置かれている状況や、空間の繋がり(手前・中間・奥)を意識して描いて下さい。

1月及び3月実施の入試は、自画像を油彩で描く課題です。テーマ内容やモチーフの課題に沿って、自身を自由に描きま

す。従って12月実施の入試に比べて、より自由で幅広い表現が可能です。自画像と背景との関係を考慮しながら、ポーズが画面にどのように入るかを意識して下さい。出題テーマは、具体的な状況イメージを想定して、モチーフ課題はそのモノをどのように扱い画面に入れるかを考え、自然な状況を意識して描いてください。自画像の構図は、顔を適度に大きく入れ、角度や動きを意識すると描くポイントや存在感を演出できますが、アイデア次第ではそうでなくても構いません。テーマから導かれる物語性や、モチーフの特性を捉えた個性的なアイデアを考えてみましょう。その際、あまり不自然な状況になり過ぎないように注意して下さい。支給された鏡を活用し、自身の発想力を最大限に活かしながら自画像を描いて下さい。

どちらの入試課題も構図は縦横自由です。油絵具(アクリル絵具も使用可)の素材の特性や色彩、物質感を活かしながら、筆やナイフ、布や指などを工夫して使い、自身の感性を引き出すよう楽しく描きましょう。しかし5時間の短い試験時間内ですので、過度なテクニックを求めているではありません。あくまで観察を基本に、対象を的確に捉えながら、しっかり描いて下さい。積極的なアプローチを心がけ、絵心溢れる絵画制作をして下さい。

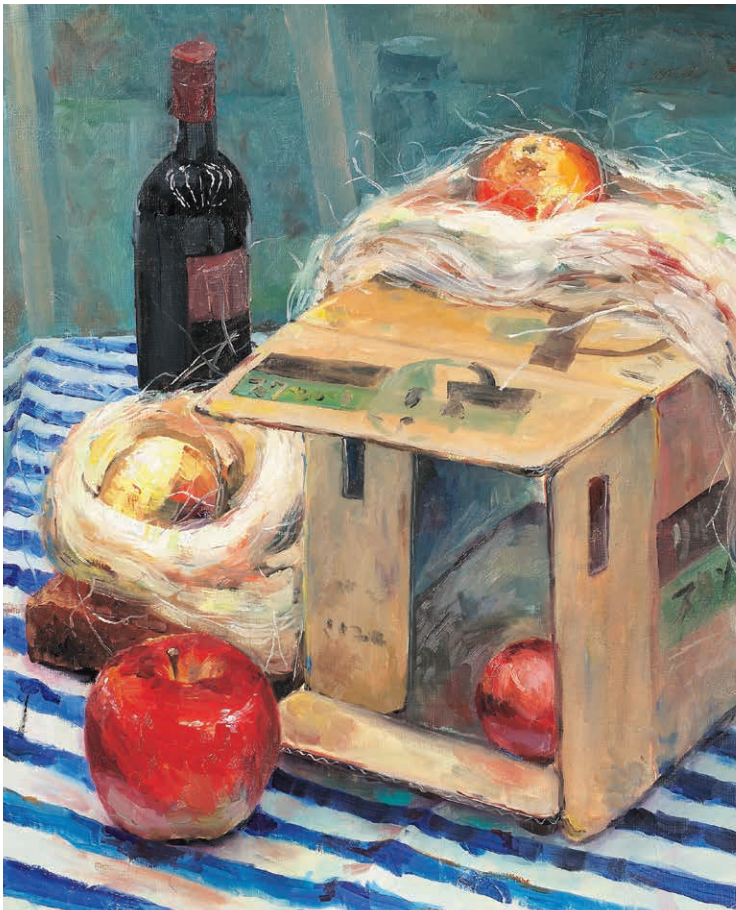
総合型選抜入学試験[併願型]

問題

油彩にてモチーフを描きなさい。



参考解答



評価コメント

ダンボールの形態がしっかりしていて、非常に安定感のある構図で見事に描き切ってくれました。手前のりんごの鮮やかさが、背景の色調と響き合い、奥行きが感じられます。

奥に置かれたワインビンの黒さと手前にある麻の繊維やダンボールの描き分けができており、空間の広がりや画面の強さを感じさせます。ダンボールの中も丁寧に観察しており、共感の持てる作品となりました。



評価コメント

画面全体に大きくモチーフが配置されており、迫力のある作品になりました。それぞれのモチーフが的確に描かれており、また光の方向性も十分に感じられ、メリハリの感じられる画面になりました。台に敷かれた布のストライプ柄が不自然であり、画面が不安定に感じられる点は残念です。

評価コメント

黒いワインボトルに描かれた丁寧な映り込みや、それぞれのモチーフ同士に反射する色が響き合った美しい作品です。背景の明るさが画面全体に清々しい印象を与えています。ダンボールの柄が強く見え過ぎてしまい、形状が分かりにくくなってしまっていますが手前に置かれたグレープフルーツと麻の繊維、レンガを主役として魅力的に描けているため、画面の広がりを感じられる作品となりました。





評価コメント

明るい色調が軽やかさを感じさせる作品です。ダンボールの質感が秀逸で、手前に置かれたレンガ、奥のビンの硬い質感との対比が画面の奥行きを見事に表現しています。画面左のりんごとグレープフルーツの描き込み不十分で物足りなさを感じますが、麻の繊維の色味が画面全体に涼しげな印象を与えています。布のストライプ柄が単調なのは残念です。

一般選抜試験[前期・専願型]

大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用]

社会人特別選抜試験／帰国生特別選抜試験／外国人留学生特別選抜試験

問題

与えられたモチーフを自由に扱って、油彩（アクリル
絵具の使用も可）にて自画像を描きなさい。

モチーフ：だだちゃ豆煎餅（サラダ味）2枚

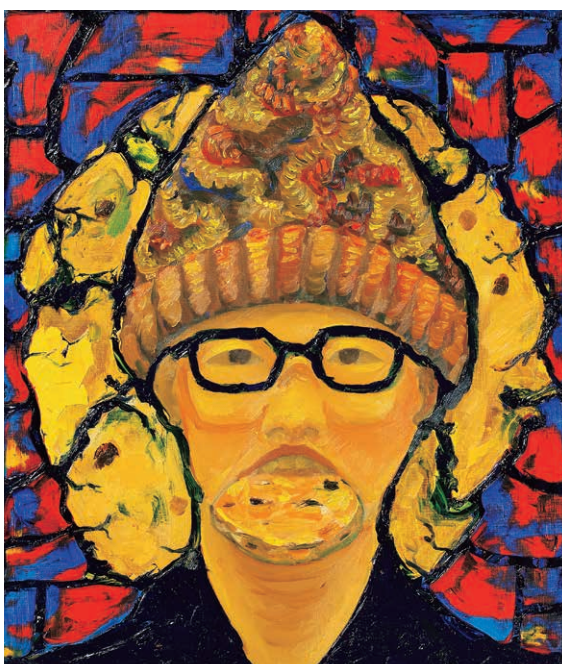


参考解答



評価コメント

爽やかな色合いが魅力的な作品です。
口の周りについた煎餅の粉やそれを
拭き取る動作がまさに今食べてい
る瞬間の表情を豊かに表しています。
持っている手のポーズも工夫されて
いて自然に口元、顔の表情へ視線を
誘導する構図が見事です。淡い色彩
で顔のしっとりとした質感を丁寧に追
っていますが服の細部も同じようにも
う少し描写が必要です。



評価コメント

絵画の平面性とモチーフをうまく使った遊び心ある作品です。割れた煎餅から分割される背景の鮮やかな色彩とマチエールで見る側を作品に引き込む強さを感じます。帽子の表現は毛糸の暖かさや手触りまでも描写しようとする熱意が感じられますが、顔はもっと描き込みが必要です。しっかり描くことで表情がより魅力的に見えてくるでしょう。

評価コメント

顔の表情、流れる髪表現が伸びやかさと清々しさを感じます。顔や手の形態をしっかり観察し構造を探り出そうと筆を重ねる真摯な姿勢が作品に現れています。肌の色味も暖色だけでなく寒色を入れることで表現に深みが出ています。指の細部や服の皺も同じようにもっと描き込めることで、より一層魅力的な作品になるでしょう。また背景もしっかり描写すると物語性が出てきます。





評価コメント

強いコントラストが印象的な作品です。顔の肌と課題の煎餅をリンクさせているユニークさがあります。画面の上から光を強く当てた設定が明快で、作者の意図が伝わりやすい画面作りがされています。全体的に色味が少なく、茶色と黒だけで描いたように見えてしまいます。暗さを表現する色に、固有色以外の色味が入ることでより豊かな表現になるでしょう。

評価コメント

煎餅に顔が描かれているという発想力と独創性のある大変面白い作品です。このダイナミックな構図は見る者を飽きさせず、揺るぎない意思までも感じます。モチーフと顔の描き分け、質感の違い、また背景の処理をより意識することでこの大胆な構図に説得力が増すでしょう。





評価コメント

ドラマチックで食べようとする一瞬を捉えた力強い表現です。まだまだ手の表情や細部までの描き込みは必要ですが、その人の心情や性格まで感じ取ることができる素晴らしい顔の表情です。寒色の肌や背景の寒々しい色合いが空腹を感じさせ、見る者に想像力を掻き立て惹きつける秀逸な作品です。

評価コメント

背景に煎餅を大きく構成した迫力がある作品です。じっとこちらを見つめる静かな顔の表情と大胆な構図が存在感を際立たせています。割った煎餅の質感や眼鏡、髪の毛など細部まで意欲的に観察し表現しています。あと一歩、肩の立体感やセーターの質感を踏み込んで描写すると良いでしょう。



一般選抜入学試験[後期]

問題

「生命」をテーマに、自身を自由に描きなさい。

参考解答

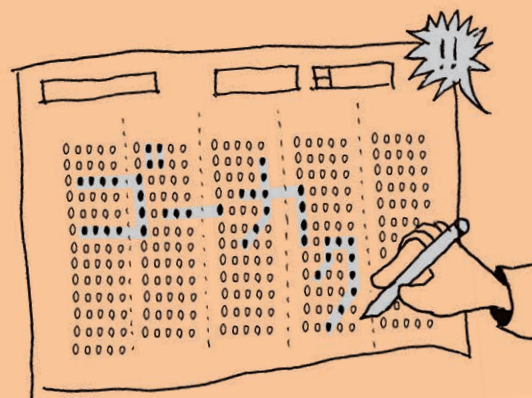


評価コメント

絵画性を持った表現力の高い作品です。隅々まで気を配り、色彩豊かでみずみずしさや透明感があり筆のタッチも魅力的です。的確な描写力で制作時間いっぱいまで画面と対峙したであろう姿勢もこの作品から感じ取れます。ただ「生命」というテーマからの発想が弱く、もっと自由に背景と顔を構成することによってさらに魅力的な作品となるでしょう。

教科科目

英語 / 国語 / 数学



2024 年度出題概要 ※ 2025 年度の出題概要は、「東北芸術工科大学 2025 年度 学生募集要項」をご確認ください。

英語

試験時間 60 分

出題範囲	コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ 英語表現Ⅰ（筆記試験のみ）（リスニングテスト及びスピーキングテストは実施しない）
評価のポイント	英語の基本的理解力及び読解力

問題→ P.60 ～ P.68 問題解答→ P.94

国語

試験時間 60 分

出題範囲	国語総合（古文・漢文を除く）
評価のポイント	日本語の読解力及び日本語による表現力

問題→ P.69 ～ P.89 問題解答→ P.95

数学

試験時間 60 分

出題範囲	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅳ、数学Ⅴ 空欄補充式（80 点）と記述式（20 点）による。数学Ⅳについては「場合の数と確率」、「図形の性質」から 1 題を選択して解答する。数学Ⅴについては「数列」、「ベクトル」から 1 題を選択して解答する。
評価のポイント	数学の基礎についての理解力

※数学において、基礎についての理解力に加えて、「思考力・判断力・表現力」を評価するために、過程を含めて記載を求める記述式問題を出題します。
問題→ P.90 ～ P.93 問題解答→ P.96 ～ P.98

英語

第1問 次のA～Dの各問いに答えなさい。(配点 50)

A 次の(1)～(6)の発話に対する応答として最も適切なものを、下の1～5のうちから1つずつ選び、番号で答えなさい。

- (1) May I sit here?
- (2) Have you submitted your portfolio?
- (3) I broke your glass.
- (4) How can I help you?
- (5) I'm so hungry.
- 1 Don't worry about it.
- 2 Not yet.
- 3 I need some bread.
- 4 So am I.
- 5 Sorry, it's taken.

B 次の(1)、(2)の各文を会話が成立するように並べ替え、番号で答えなさい。

(例) 1－3－2－4

- (1)
 - 1 I'd really appreciate it.
 - 2 Did you miss the train?
 - 3 I can give you a ride.
 - 4 Unfortunately.
- (2)
 - 1 Which shirt do you recommend?
 - 2 But I don't like red very much.
 - 3 Then try the blue one.
 - 4 How about the red one?

C 次の(1)～(16)の空欄に入れるのに最も適当な語(句)を、それぞれの下の1～4のうちから1つずつ選び、番号で答えなさい。

- (1) Every student () required to submit the term paper.
 - 1 is 2 are 3 were 4 have been
- (2) This song always () me of my hometown.
 - 1 makes 2 remembers 3 takes 4 reminds
- (3) It is very kind () you to help me out.
 - 1 for 2 of 3 with 4 by
- (4) They looked () during the lecture.
 - 1 boring 2 bore 3 boredom 4 bored
- (5) I'd rather play it by ().
 - 1 ear 2 nose 3 chin 4 eyes
- (6) In the middle of difficulty () opportunity.
 - 1 likes 2 lies 3 cries 4 sways
- (7) I get paid \$12 () hour.
 - 1 from 2 on 3 with 4 per
- (8) The train leaves this station () ten minutes.
 - 1 by 2 until 3 in 4 for
- (9) Dr. Smith often speaks to her colleagues in a () way.
 - 1 sarcastic 2 long 3 binary 4 permitted
- (10) I'm afraid it does not () any sense.
 - 1 make 2 break 3 care 4 fill
- (11) They teach their customers how to () and match furniture.
 - 1 throw 2 enrich 3 mix 4 deal

(12) Who is the most () person in your life?

- | | | | | | | | |
|---|-----------|---|-----------|---|----------|---|-------------|
| 1 | influenza | 2 | influence | 3 | influent | 4 | influential |
|---|-----------|---|-----------|---|----------|---|-------------|

(13) I walked home because I wanted to save the bus ().

- | | | | | | | | |
|---|-------|---|------|---|-------|---|-----|
| 1 | money | 2 | fare | 3 | price | 4 | fee |
|---|-------|---|------|---|-------|---|-----|

(14) You must put everything () to concentrate on your work for now.

- | | | | | | | | |
|---|-----|---|-------|---|----|---|--------|
| 1 | out | 2 | aside | 3 | up | 4 | across |
|---|-----|---|-------|---|----|---|--------|

(15) We have () to meet our new teacher.

- | | | | | | | | |
|---|-----|---|-----|---|-------|---|---------|
| 1 | yet | 2 | not | 3 | still | 4 | despite |
|---|-----|---|-----|---|-------|---|---------|

(16) I need you in my office at ().

- | | | | | | | | |
|---|------|---|------|---|---------|---|------|
| 1 | soon | 2 | once | 3 | quickly | 4 | then |
|---|------|---|------|---|---------|---|------|

D 下線部の発音が他の3つと異なるものを1つ選び、番号で答えなさい。

- | | | | | | | | | |
|-----|---|---------|---|--------|---|--------|---|--------|
| (1) | 1 | snug | 2 | truth | 3 | button | 4 | rugged |
| (2) | 1 | sublime | 2 | switch | 3 | spin | 4 | linear |

第2問 次のA～Bの名問いに答えなさい。(配点50)

A 次の会話を読んで、以下の問いに答えなさい。

Self-Sufficient Life

Akiko : Wow, your lunch looks really good. Did you cook that yourself?

Sora : Yes, but not only (①) I cook it, I also grew the vegetables.

Akiko : Really? I didn't know you were into farming! I know Peter is growing cucumbers on his balcony, right?

Peter : Yes, I am. I'm also growing tomatoes and some herbs. I wanted to try eggplants too. But I'm not sure I get enough sunlight for those. I need a bigger balcony! Where do you grow your vegetables?

Sora : I have a neighbor who has some land, so he lends it to me. It saves him the trouble (A) taking care of it.

Akiko : (②) I think I prefer to buy mine from the supermarket.

Sora : Yes, it is hard work. But (③) the price of food rising, it's really economical. I like to eat a lot of vegetables, and this way I can. Also, they are much more delicious (B) ones you buy at the shops.

Peter : I want to try and grow more too. It's amazing what you can do on a balcony. By the way, what made you start growing vegetables?

Sora : I was watching a YouTuber producing all his own food, collecting rain water, and making his own fertilizer. I thought it was really cool not to have to rely (C) other people. He often talks about the merits of self-sufficiency.

Akiko : What does self-sufficiency mean?

Peter : It means to provide for yourself.

Akiko : Is it difficult?

Sora : Not that difficult. I talked to the old folks in my neighborhood. They have taught me so many things. They are so happy to help me. Not only do I have lots to eat now, I also have a lot of new friends!

Peter : Can I come see your farm? Maybe you can give me some tips for my balcony garden.

(1) 文中の (①) に入れるのに最も適当なものを、下の1～4のうちから1つ選び、番号で答えなさい。

- | | |
|---|------|
| 1 | am |
| 2 | have |
| 3 | did |
| 4 | can |

(2) 文中の (②) に入れるのに最も適当なものを、下の1～4のうちから1つ選び、番号で答えなさい。

- | | |
|---|-------------------------------|
| 1 | How does it feel? |
| 2 | It's not what I call trouble. |
| 3 | I love to do it, too! |
| 4 | That sounds like hard work. |

(3) 文中の (③) に入れるのに最も適当なものを、下の1～4のうちから1つ選び、番号で答えなさい。

- | | |
|---|------|
| 1 | by |
| 2 | with |
| 3 | from |
| 4 | on |

- (4) 文中の(A)～(C)に適切な語を入れるときの正しい組み合わせを、下の1～6のうちから1つ選び、番号で答えなさい。

	(A)	(B)	(C)
1	on	-	than
2	on	-	of
3	of	-	than
4	of	-	on
5	than	-	of
6	than	-	on

- (5) 次の[1]～[2]の質問に対する答えを、それぞれ下の1～4のうちから1つ選び、番号で答えなさい。

- [1] Which of the following statements is true?

- Peter has some land to lend.
- Akiko is eager to start her own garden.
- Rain water is suitable for washing your harvest.
- Sora was inspired to plant vegetables by a YouTuber.

- [2] Which of the following statements is false?

- Growing vegetables on borrowed land often causes trouble.
- Akiko thinks it more efficient to buy produce at shops.
- Peter is curious about gardening techniques.
- Sora needed help with her farming.

- (6) 次の[1]～[2]の英文において、それぞれ下の1～3の語を並べ替えて空欄を補い完成させるとき、()に入る語はどれか。番号で答えなさい。

- [1] I only _____ () _____ consume.

- I
- grow
- what

- [2] Fertilizers _____ () _____ faster.

- plants
- help
- grow

- B 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

Smiles Uncovered

In Japan, three years of mask-wearing during the COVID-19 pandemic meant that some students went through their whole junior or senior high school lives only seeing their classmates' faces while eating lunch or playing sports outside. In fact, the whole society was masked most of the time. Cities full of masked people became normal. (①) when the government lifted the mask mandate, people kept their masks on. Some people still wanted the protection offered against getting sick; others had become used to the mask and felt embarrassed, or thought it was the polite thing to do. However, we may ask what effect covering faces had on people during this time. Not being able to see smiles in the streets or supermarkets, people tried their best to smile with their eyes. Did a lack of smiling have any effects? This could very much depend on the culture.

America could be said to be one of the countries where people smile the most. To greet someone with a smile is a sign of respect. (②) However, these American smiles have been said to cause problems. During the Cold War, the American smiles irritated the Russians in negotiations. In their culture they don't smile much. In Russia, smiling is mostly for people you know, not for the workplace where one must be serious, nor for strangers. In fact, there is a Russian proverb that says "to smile without reason is a sign of stupidity."

Studies have shown great cultural differences in the way smiles are perceived. For example, people in Germany, Switzerland, China and Malaysia thought smiling faces were more intelligent, whereas the opposite was true for Japan, Iran, South Korea, and Russia. Japanese tend to communicate more with their eyes, and the upper part of the face, whereas Americans rely more on the lower part of the face, which could help explain the great *reluctance that certain cultures faced when asked to wear masks.

However, cultural differences aside, smiling is a basic biological human expression to show enjoyment. All humans do it. It isn't a learned behavior, and scientists have shown that babies smile before (③) born. Interestingly, when we smile chemicals are released in the brain that make us feel happy, and can also relieve pain. Not only that, smiling can make your skin healthier and look younger as you use muscles when you smile, which improves blood circulation in the face.

④ Finally, the famous song lyric "smile and the world smiles with you" couldn't be truer. Smiles are indeed contagious. The part of the brain that makes us smile also mirrors other people's reactions. When someone smiles, we automatically smile back. This leads to a "ripple effect" which means the smiles will spread. Scientists have calculated that our behavior can influence the people around us to three degrees. This means your smile will spread to not just those you directly connect with, but also your family and friends, which for most people could extend to around 1,000 people. So, the next time you smile at your friends and they smile back,

remember you have just sent a ripple of happiness into the world.

注 *reluctance 不本意 *ripple 波紋

(1) 文中の (①) に入れるのに最も適当なものを、下の 1~4 のうちから 1 つ選び、番号で答えなさい。

- 1 Mainly 2 Lest 3 Even 4 Firstly

(2) 文中の (②) に入れるのに最も適当な文を、下の 1~4 のうちから 1 つ選び、番号で答えなさい。

- 1 It was a controversial thing to do.
2 It seemed uncommon to do it.
3 You can no longer see it in the streets.
4 It is a foundation of communication.

(3) 文中の (③) に入れるのに最も適当なものを、下の 1~4 のうちから 1 つ選び、番号で答えなさい。

- 1 be 2 is 3 was 4 being

(4) 次の[a]~[d]の定義が示す単語を 1~10 の選択肢から 1 つずつ選び、番号で答えなさい。

- [a] an official order to do something
[b] discussion aimed at reaching an agreement
[c] likely to spread to and affect others
[d] a feeling of deep admiration for someone

選択肢

- 1 serious 2 contagious 3 perceive 4 government 5 respect
6 junior 7 negotiation 8 protection 9 mandate 10 expression

(5) 次の[1], [2]の質問に対する答えを、それぞれ下の 1~4 のうちから 1 つずつ選び、番号で答えなさい。

[1] Which of the following statements is true?

- 1 Very few wore masks during the pandemic in Japan.
2 It was rude to smile during negotiations in Germany.
3 Some Japanese consider it polite to wear a mask.
4 You must greet people around to three degrees.

[2] Which of the following statements is false?

- 1 Some people used their eyes to greet others with their masks on.
2 Smiling for no reason is thought foolish in some countries.
3 Chemicals released in the brain when we smile cause pain.
4 From a biological point of view, humans don't need to learn to smile.

(6) 次の[1]~[3]の英文において、それぞれ下の 1~3 の語を並べ替えて空欄を補い完成させるとき、() に入る語はどれか。番号で答えなさい。

[1] Some students had _____ () _____ see their classmates' faces.

- 1 chance 2 to 3 no

[2] A smile may _____ () _____ to greet people politely in some cultures.

- 1 needed 2 not 3 be

[3] Smiling _____ () _____ a chain reaction.

- 1 like 2 spread 3 can

(7) 次に示した下線部④の英文を和訳しなさい。

④ Finally the famous song lyric "smile and the world smiles with you" couldn't be truer.

(8) 次の問いに対して英語で答えなさい。

What are some advantages and disadvantages of taking online classes?

英語

第1問 次のA～Dの各問いに答えなさい。(配点 50)

A 次の(1)～(6)の発話に対する応答として最も適切なものを、下の1～5のうちから1つずつ選び、番号で答えなさい。

- (1) I didn't attend the meeting yesterday.

(2) I'm so glad to meet you.

(3) I watched that movie so many times.

(4) Can you speak French?

(5) What's his name?
- 1 So did I.

2 It's on the tip of my tongue.

3 What did you do instead?

4 It's my mother tongue.

5 The pleasure is mine.

B 次の(1)、(2)の各文を会話が成立するように並べ替え、番号で答えなさい。

(例) 1 - 3 - 2 - 4

- (1)

1 "No photography."

2 What does it say?

3 I don't have a camera with me, anyway.

4 Did you read the sign?
- (2)

1 Yes. Do you want me to buy anything for you?

2 Milk and sugar, please.

3 Are you going to the grocery store?

4 That reminds me! We need some cereal, too.

C 次の(1)～(16)の空欄に入れるのに最も適当な語(句)を、それぞれの下の1～4のうちから1つずつ選び、番号で答えなさい。

- (1) It () chilly last week.

1 is 2 has been 3 was 4 will be
- (2) Kim brushed her teeth before () to bed.

1 went 2 go 3 to go 4 going
- (3) () he a member of this club?

1 Is 2 Does 3 Has 4 Can
- (4) John felt much () thanks to the doctor.

1 good 2 well 3 better 4 best
- (5) Lucy is () with her new house.

1 satisfy 2 satisfaction 3 satisfying 4 satisfied
- (6) Tourists () to the island this month.

1 raised 2 installed 3 forced 4 flocked
- (7) Dave () up with the new idea.

1 built 2 blew 3 took 4 came
- (8) My daughter was born () the evening of October 15.

1 in 2 on 3 at 4 from
- (9) Cacao () for a good portion of imports to this country.

1 accounted 2 looked 3 thanked 4 privileged
- (10) I will let you () the details later.

1 to know 2 know 3 knowing 4 knew
- (11) Keeping your emotions in () is sometimes hard.

1 check 2 row 3 stress 4 stock

- (12) Please leave us () because we need time to think.
 1 loneliness 2 lone 3 lonely 4 alone
- (13) This bag () as a backpack too.
 1 plays 2 runs 3 makes 4 serves
- (14) I haven't heard from my pen pal ().
 1 latter 2 later 3 lately 4 late
- (15) Ms. Bradley left () plates in the kitchen.
 1 her 2 herself 3 hers 4 she
- (16) () do you think Susan is absent from school?
 1 What 2 How 3 Why 4 Who

D 下線部の発音が他の3つと異なるものを1つ選び、番号で答えなさい。

- (1) 1 pride 2 aside 3 signal 4 pirate
 (2) 1 spouse 2 mouse 3 found 4 cousin

第2問 次のA～Bの名問いに答えなさい。(配点50)

A 次の会話を読んで、以下の問いに答えなさい。

Online Meetings

- Luke: Right, teeth brushed, desk cleaned, got my notes prepared! I'm ready for my meeting.
 Aki: Why do you need to brush your teeth and clean your desk (A) an online meeting? No one can smell your breath or even see your desk!
- Rina: Yeah. (①) bother? It's just online.
 Luke: That's the problem. People often think "just online" and don't take the meetings as seriously as face-to-face meetings. I like to get prepared in the same way I would in real life. It gets me in the right frame of mind.
 Aki: That's true. I mean, these days online is just as real as face-to-face, (②) it? Although some people still have resistance to it.
 Rina: (③) I don't like online meetings or conversations. I find it hard to communicate in the same way.
 Luke: Why is that?
 Rina: It's difficult to read what the other person is thinking. There is sometimes a time lag.
 Aki: I see your point. But, as technology advances communication is becoming much smoother. Hopefully the time lag will go.
 Luke: I agree. The problem is, some people don't know how to engage properly in online communication.
 Aki: Yeah, they just sit there like they are watching TV.
 Rina: What do you mean?
 Luke: Well, (B) instance you need your camera to be at eye level, so you can make 'eye contact' with the person you are speaking to.
 Aki: And don't forget to sit back, so your face isn't too close. That can make people feel uncomfortable, like you are invading their personal space.
 Luke: It's good to be able to see the other person's body and hands. A lot is communicated (C) posture and gesture. It's even more important to listen actively online, and to give non-verbal feedback.
 Rina: Oh dear, I didn't realize that. I just thought as long as the camera is on, that's all I needed to do. I'll try these tips in my meeting tomorrow! Thanks.

(1) 文中の (①) に入れるのに最も適当なものを、下の 1～4 のうちから 1 つ選び、番号で答えなさい。

- 1 How
- 2 Why
- 3 Where
- 4 Who

(2) 文中の (②) に入れるのに最も適当なものを、下の 1～4 のうちから 1 つ選び、番号で答えなさい。

- 1 don't
- 2 isn't
- 3 doesn't
- 4 haven't

(3) 文中の (③) に入れるのに最も適当なものを、下の 1～4 のうちから 1 つ選び、番号で答えなさい。

- 1 Me, neither.
- 2 It seems untrue.
- 3 I don't mind.
- 4 I'm one of them.

(4) 文中の (A) ～ (C) に適切な語を入れるときの正しい組み合わせを、下の 1～6 のうちから 1 つ選び、番号で答えなさい。

	(A)	(B)	(C)
1	for	before	through
2	for	through	before
3	before	for	through
4	before	through	for
5	through	for	before
6	through	before	for

(5) 次の [1] ～ [2] の質問に対する答えを、それぞれ下の 1～4 のうちから 1 つ選び、番号で答えなさい。

[1] Which of the following statements is true?

- 1 Luke feels better prepared by getting everything set before meetings.
- 2 Rina prefers to have meetings online.
- 3 The closer to the camera you get, the more professional you look.
- 4 Aki hopes the time lag will create comfortable online communication.

[2] Which of the following statements is false?

- 1 Rina wondered why Luke cleaned up his desk for the meeting.
- 2 Aki suggests making eye contact only works in meetings in person.
- 3 It's important to engage actively in meetings.
- 4 Reading what others are thinking matters during conversation.

(6) 次の [1] ～ [2] の英文において、それぞれ下の 1～3 の語を並べ替えて空欄を補い完成させるとき、() に入る語はどれか。番号で答えなさい。

[1] Online communication () technological advancement.

- 1 smoother
- 2 gets
- 3 with

[2] Conveying () words is not always easy.

- 1 using
- 2 information
- 3 without

B 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

A Rolling Stone Gathers No Moss

A *rolling stone gathers no moss* is a proverb that is shared by both English and Japanese speakers. It means that people who are always on the move don't form deep relationships, connections, or responsibilities. It implies that these things are good, and therefore a mossy rock is a desirable thing. However, in modern times some people have taken it to mean the opposite. (①) you keep moving, you can avoid getting stuck in a *rut, losing your creativity. It is better to be light and free. In this second interpretation, moss is seen as undesirable, something to avoid collecting.

These interpretations of this proverb lead to two very different images of the value of moss. In Japanese culture there is no *ambiguity about moss, nor the meaning of this proverb. Forming strong community connections and the beauty of moss are both highly admired in Japanese culture. In fact, moss is even mentioned in the Japanese national anthem. Moss is a symbol for simplicity and understated beauty. It is an outward sign of the passage of time, of continuity. Moss grows very slowly, and so a moss-covered rock, or a garden covered in lush green moss is something money alone cannot buy. (②) There is a Japanese phrase which uses the word *kokemusu* meaning literally to become covered in moss, and it is used to say that time is moving slowly.

Moss is one of the oldest plants on land. It was the first plant to make the move from sea to land 350 million years ago. There are around 12,000 different species, of which 2,500 can be found in Japan. Recent studies have calculated that moss covers 9 million square kilometres of land, which is about the size of China. Moss can be found all over the world, from dry deserts to lush humid forests. Moss doesn't flower or have roots. But it can attach itself to almost anything. It absorbs moisture and minerals from the water and air around it.

Scientists are only just beginning to understand (③) important moss is for the health of our planet. In hot climates moss can help cool the ground, and in cool climates it can help keep it warm. Most importantly, moss can capture carbon, and other harmful *particles in the atmosphere. It is one of the best plants for cleaning the air and providing oxygen. ④ In recent years, there have been new and exciting ways developed to use moss. For instance, we can now buy home air filters featuring moss. One city council in the UK has even made large-scale moss filters and placed them at busy intersections to filter the air from harmful pollution caused by traffic. Students from the University of Andes in Bogotá designed a water filter made from moss which can capture microplastics from drinking water. Moss has also seen a growing popularity in use as "green art" in office spaces. Beautifully-designed moss frames, hanging on the walls, not only purify the air but also help stressed workers to relax. Maybe we should take note to slow down and cultivate our relationships and let the moss gather.

注 *rut 決まりきったやり方 *ambiguity 多義性 *particles 微粒子

(1) 文中の (①) に入れるのに最も適当なものを、下の1～4のうちから1つ選び、番号で答えなさい。

- 1 If 2 Although 3 Until 4 But

(2) 文中の (②) に入れるのに最も適当な文を、下の1～4のうちから1つ選び、番号で答えなさい。

- 1 It won't take long.
2 It doesn't last any longer.
3 It will cost a lot.
4 It takes time.

(3) 文中の (③) に入れるのに最も適当なものを、下の1～4のうちから1つ選び、番号で答えなさい。

- 1 when 2 what 3 why 4 how

(4) 次の[a]～[d]の定義が示す単語を1～10の選択肢から1つずつ選び、番号で答えなさい。

- [a] marked by a relatively high level of water vapor in the air
[b] a patriotic song officially adopted by a country
[c] the weather conditions prevailing in an area in general
[d] expressed in a subtle and effective way

選択肢

- 1 understated 2 anthem 3 undesirable 4 outward 5 species
6 humid 7 lush 8 capture 9 interpretation 10 climate

(5) 次の[1], [2]の質問に対する答えを、それぞれ下の1～4のうちから1つずつ選び、番号で答えなさい。

[1] Which of the following statements is true?

- 1 A rock with moss is considered valuable in Japan.
2 It costs a lot to create a moss-covered rock.
3 A new variety of moss is found in Japan every year.
4 Scientists have found that filters made from moss can reduce oxygen.

[2] Which of the following statements is false?

- 1 There are two ways of interpreting a moss-gathering rock in English.
2 Firm relationships are praised in Japanese society.
3 Scientists are warning that the natural habitat of moss be left undisturbed.
4 Moss frames have some relaxation effects.

- (6) 次の[1]～[3]の英文において、それぞれ下の1～3の語を並べ替えて空欄を補い完成させるとき、
()に入る語はどれか。番号で答えなさい。

[1] A mossy rock can () an ambivalent symbol.

1 seen 2 as 3 be

[2] One who is always () become stagnant.

1 moving 2 never 3 will

[3] Some people have () the most of moss.

1 make 2 to 3 started

- (7) 次に示した下線部④の英文を和訳しなさい。

④ In recent years, there have been new and exciting ways developed to use moss.

- (8) 次の問いに対して英語で答えなさい。

Would you like to live in one place for a long time, or often move to new places? Why?

国語

問題 次の文章を読んで、後の問に答えよ。

A 今日、地球環境問題の重要性が叫ばれ、「環境との**Ⅰ**」の大切さがいろいろと取り沙汰されるなかで、この「環境」という言葉は若に溢れ、さまざまな場面で「環境」という言葉が(Ⅱ)人口に膾炙しているが、この「環境」という言葉で思い浮かべられているのは、通常、河川や海、あるいは森林や動物の生息域などの「自然環境」であろう。そうした理解が**a**である状況下で、「文化環境」とか「社会環境」という言葉が用いられるとき、それは「自然環境」という場合の「環境」という言葉の**b**な使用法からしてみれば、ただ単に何か**c**に用いられているのだと理解されるかも知れない。

しかし、いわゆる「自然界」を指すために用いられる場合の「環境」と人間のまごまごの営みや活動を取り巻いている文化的・社会的状況を指すために用いられている「文化環境や社会環境」という場合の「環境」との間には、実質的な、あるいは**d**な意味はなく、「文化環境」といえば、それは結局「自然環境」との何か類比的な、あるいは**e**な用法でしか用いられていないのであろうか。人間にとつての「環境」は自然環境のみに限られるわけではなく、「文化環境」も「社会環境」もわれわれ人間の環境であるが、その際注意しなければならないのは、文化が自然との関係で取り上げられる場合、「文化環境」というのは、「自然環境」から離れて、それとは別のものとして「文化環境」があるのではないということである。「文化環境」というのは、この場合人間が自然にかかわる、まさにその点で「自然への人間のかかわり方」として成立するのである。

B 自然環境の異変が人々のさまざまな関心をひき、自然保護の必要がいろいろのかたちで取り上げられ、「自然との共生」が謳われる一方で、もう一つ別の事態が同時に進行しているように思われる。いわゆる「環境問題」というのが、いったいどういふ問題であるかを考えてみると、(A)同時進行しつつある、もう一つのその事態にも十分目を向けることが必要であるように思われる。

それは、われわれの生活環境の中から、自然環境が急速に姿を消し、自然環境はわれわれにとってかなり疎遠なものになりつつあるという事態である。例えば、日本で、現代という時代(一九九〇～二〇〇〇年代)から、たかだか半世紀ほど遡る時代(一九五〇年代)と比較しても、当時人々がそこを自らの住まいとしてきた「自然環境」は、われわれの現在の生活環境からすっかり抜け落ち、それに取って代わり、科学技術と経済システムの生み出した新たな人工の環境に囲まれて、われわれは生活している。半世紀前に、多くの日本人が自らの住まいとしていた「自然環境」は、現今の生活にあつては、かなり遠い環境となり、そこはむしろわれわれが行楽やレジャーや遊びで、非日常的に

触れる場所であり、われわれの直接の住まいとはもはや言えない状態になっている。

確かに、われわれはさまざまな情報源から、①湖沼や河川や港湾の水質の悪化、熱帯雨林の急速な消失、希少生物の個体数の減少、フロンガスによるオゾン・ホール^{オゾンホール}の出現、ホルモン攪乱物質^{ホルモナル乱物質}による生物の②セクション^{セクション}器官への影響、硫酸^{硫酸}酸化物^{酸化物}のもたらす酸性雨による森林の立ち枯れ、農業等の生物体への蓄積、二酸化炭素の増加など、挙げればきりが無いほどの「人間活動による自然への影響」に言及するさまざまな情報を聞かされている。そしてそうした情報に触れるたびに、自然に対するわれわれの関心や想いは高められていく。しかしこの関心や想いは、いったいどのような種類のものなのであろうか。

われわれは数々の「自然の異変」に関する情報を聞かされ、それに触発されて自然環境への関心を高め、「自然保護」を想い、「自然との共生」をしばしば口にするが、しかしそうした「自然の異変」は、われわれの生活環境の異変としては経験されていないのが一般的ではないだろうか。自然環境の汚染や破壊と言うが、われわれはそれを、生活を取り囲み、われわれの周りを経巡^{くわんぐわん}っている、生活環境の破壊や汚染として経験しているわけではない。やや大袈裟^{おおげさ}な言い方をすれば、われわれは、日増しに息苦しくなったり、食事をするたびに身体^{からだ}の具合がおかしくなったり、生物種が日ごとになれわれの前から姿を消していくという経験をしているかといえば、決してそうではあるまい。われわれの自然環境への関心は、必ずしも自らの経験に基づいているわけではない。

ア われわれは、どちらかと言えば、(B) 自然を「自らの直接的な環境として生活する」ことを避けてきたというのが実情であらう。一九六〇年代に始まった日本の高度成長期^{高度成長期}において、都市圏への人口移動と農村や山村や漁村の③カウ化^{カウ化}は、そのことを如実に物語るかもしれない。そして現在、都会で都市生活を送っている人々にとっては、自らの生活環境をすっかり人工の環境で固めながら、いわば自然に背を向けて（反自然に）生活を営んでいる。都会に住まう人々ばかりではない。いわゆる田舎にあっても、人々は都市型生活をむしろ好んで営んでいる。「都市化する」ということ、すなわち「都市型生活を営む」ことは、実は「自然のもつさまざまな脅威や猛威から逃れること」でもあるから、われわれの生活が都市化することは、本来その内に「自然からのできるかぎりの逃避」を含んでいるのである。

イ 自然に背を向け、自然からの離脱を願って、都市生活（都市型生活も含め）を送るわれわれの生活環境からは、自然環境は大きく後退し、代わって肥大化^{肥大化}したとも言える科学技術と経済システムの生み出した新たな環境に取り囲まれて暮らしている。いちいち掲げるまでもなく、電気製品を中心として、科学技術と工業社会や経済システムの生み出した数々の製品がわれわれの生活を取り囲み、そういう製品なしには、われわれの生活は成り立たないほど深くわれわれの生活に食い込んでいく。もはや「自然環境」が「われわれの生活環境である」とは言えなくなった状況の中で、われわれは「技術関連」を「自らの環境」として、その中に生きている。

ウ われわれが環境としているのは、われわれの家の中で、われわれを取り囲んでいるさまざまな工業生産製品だけではない。日常生活を営むための、そうした諸々の道具^{もぐ}は、実は巨大な技

術関連の末端に位置している装置である。それらはわれわれの（注1）ライフラインの末端に過ぎない。テレビ、冷蔵庫、洗濯機、電気釜、電気ポット、エアコン、ガスレンジ、風呂やシャワー、水洗トイレ、電話など、われわれの生活を極めて便利にしているライフラインの末端は、われわれが地震、台風、洪水などのさまざまな災害に見舞われて、そのライフラインが絶たれるとき、もはやただの箱やものと化し、われわれの都市型生活がとればと巨大な技術関連に支えられているか、そしてわれわれはそれに繋がれて、かろうじて生活を営んでいるのだということを身に沁みて知らされることになるものなのである。

だがこの光景は、病院の集中治療室で、身体じゅうに、点滴装置、心電図モニター、脳波モニター、栄養補給のための④鼻腔チューブ、（注2）レスピレーターなど、生命⑤イシ装置から 夥しいチューブによって繋がれ、すでに意識を失っている重傷患者（この患者には目もくれず、モニターや点滴装置やレスピレーターにのみ注視している医者と看護師）の光景に似てはいないだろうか。この光景をある医字部の医師は「スパゲッティ（注3）シン드ローム」と呼んだということであるが、われわれの現在の生活もこれと同様の光景であるといつて、まず間違いではあるまい。われわれ自身は、日常意識することはないが、電気、水道、ガスのチューブ、食糧その他のものの輸送のための道路や鉄道や空路、排泄物や排水を流し出す下水道というチューブに繋がれて生活しているのであり、これこそ巨大なスパゲッティシンドロームということができるのではないだろうか。われわれは意識を失った重傷患者と同様に、自分ひとりでは食事を摂ることも、水を飲むことも、排泄さえままならぬ存在になっているのである。

エ、一見われわれの生活を「便利で、⑥コウリツ的な」ものとしているかに見える、技術関連のその皮一枚下には、（シ）実はずっと深刻な事態があることに気づかされるであらう。われわれはラインやチューブを通じて、巨大な技術関連に繋がれ、そこから生活に必要なものを吸い出しながらい、あるいは不要になったものをチューブを通じて送り出しながら、生活しているのである。

こうして、自然をすっかり締め出し、技術関連の中にかつちりと組み込まれ、自然に背を向けて生きながら（そしてわれわれの多くは、それが今後とも一層⑦ソクシンされることを願いながら）、しかしもう一方で「自然」に対する関心を大いに抱いている。休日ともなれば、「自然とのふれあい」と称して、われわれももと山や海に出かけるのも、自然食品がもてはやされるのも、自然の異変に関する報道に耳を傾け、心痛めるのも、反自然の環境に囲まれながら、しかしなお「自然（ということ）」に並々ならぬ関心をわれわれが抱いている証拠となるであらう。

シ 現在、環境が汚染され、破壊されつつある現状の中で、世界中が一体いつすればそれを押し止め、そして回復することができるか、やがにどうすれば自然を保護することができるかということを一大大課題としていると言つてよい。多くの人々がそこに目を向け、その中で「自然との調和」や「自然との共生」ということが謳われるが、自然と調和し、共生する人間の生活とは、具体的には一体どの

ような生活なのであろうか。それを考えてみることは、われわれの自然への関心がどのような種類の関心なのかを明確にしてくれるように思われる。

もし仮に、これまで自然の汚染や破壊の元凶と見られていた自然科学の成果を活かした科学技術や近代工業社会が、すっかり環境⑧シコウ型のものへと生まれ変わり、これまで考えられなかったような飛躍的進歩を遂げ、また国際的なレベルで打ち出される様々な政策の結果、首尾よく、大気の汚染も水圏や地圏の汚染や破壊もなく、またこれまで破壊され汚染された自然環境を回復するようすばらしい工夫を行うことが可能になったとしよう。自然環境は、すっかり元の豊かな姿を取り戻し、もはや「環境問題」は消え去ったとして、ではそのような回復された自然環境と、われわれは一体どのようなにかかわることになるのだろうか。

われわれはその自然に足を踏み入れ、これまでと同様にその自然を利用し、自然のもたらすさまざまな恵みに(Ⅲ)与(あずか)り、自然のもつ人間にとっての諸々の価値を享受するということになるのだろうか。それとも、そうやって回復された自然環境は、もはやまったく人間を寄せつけることのない自然として、人間の営みからは完全に⑨カクセツされた自然として存在することになるのだろうか。

ここで問われているのは、現実的な施策として、われわれが自然の保護や保全など、自然環境への様々な配慮を目指す場合に、射程に収めるべきは、単に「自然そのものの保護や保全」のみならず、「われわれの環境としての自然をどのようなものとして捉え、そしてその自然へのわれわれのかかわりをどのようなものとして考え、どのようなものとして作り上げていくか」ということである。

その点が明確にならなければ、われわれの自然の保護や保全や回復の想いは、幼なじみと喚声をあげつつ、緑の野山を一緒に駆けめぐり、水しぶきを上げながら小川で戯れ遊んだ、あの少年期の素晴らしい記憶が、初老の齢を迎えた今なお色褪せず、蘇って欲しいと、春先だ浅き休日の昼下がりに、木漏れ日の洩れる晝斎の椅子に掛けながら、昔を想う、そういう夢物語にも等しいものということになるのではないだろうか。

一体、自然が元の豊かな姿を回復したとして、われわれはその回復した自然とのかかわりを、ちょうど、百年あるいは五十年程前に、人々が自然との様々なかかわりの中で育んでいた伝統的文化の位置に立ち戻り、——勿論われわれは既にその大半を⑩ソウシツし、あるいはソウシツしつつあるのだが——それと同じように(Ⅳ)伝統的文化に従って自然とのかかわりを切り結ぶのか、それとももはやそのようなかかわり方の回復は、現実的なものとは言えず、別のかかわり方を必要とするのだろうか。しかし、もし別のかかわり方を必要とするにしても、それをわれわれは未だ何も準備してはいないのである。もしそれが無いのなら、われわれの「自然環境への関心」は、未だ先の「夢物語」の域を出ていないということになるのではあるまいか。

既に述べたように、われわれの現在の生活は、むしろ自然環境を遠くへと押しやり、自然に背を向けた形で、巨大な技術関連の中で成り立っている。こうしたわれわれの生活が推し進めることになる環境汚染や環境破壊から、環境保護や環境との I の生活へと方向を転じるには、諸々の技術的

対応や工夫、また具体的な環境保護の施策の実施にも増して、「われわれが自然環境とどのように向き合い、どのようにかわるのか」という、自然環境とわれわれとの基本的なかわりが求められている。

(吉田雅章『環境問題と文化』による。なお、本文に一部変更・省略がある)

【語注】

注1：ライフライン — 日常生活に必要な不可欠な設備や機能のこと。

注2：レスピレーター — 人工呼吸器。

注3：シンドローム — 症候群。いくつかの症候が常に相伴って認められるが、その原因が不明のときに用いられる医学用語。

問1 波線部①～④のカナを漢字に改め、漢字は読みを答えよ。

問2 空欄 に入る最も適切な言葉を の文中から二文字で抜き出して答えよ。

問3 破線部(Ⅱ)～(Ⅲ)について次の設問に答えよ。

①(Ⅱ)「人口に増えている【人口に増える】」という慣用句は、どのような意味でつかわれているか、二十字以内で簡潔に答えよ。

②(Ⅲ)「与(あずか)り【与る】」という言葉には、「ある事柄に関係する」や「好ましい影響を受ける」という意味がある。そうした意味の「与」を含む熟語を次の語群から選び、記号で答えよ。

ア 贈与 イ 付与 ウ 給与 エ 授与 オ 参与

問4 空欄 ～ に入る言葉を次から選び、記号で答えよ。ただし同じ言葉を二回使うことはない。

ア 本来的 イ 派生的 ウ 一般的 エ 類比的 オ 統一的

問5 傍線部(A)「同時進行しつつある」とは、どのような事態とどのような事態とが同時進行しつつあるというのが、 の文中より対比的に説明されている二つの事態を過不足なく抜き出し、それぞれ最初と最後の五文字で答えよ。

問6 空欄 ア ～ エ に入る言葉の組み合わせとして適当なものを次から選び記号で答えよ。

- I ア しかし イ とすれば ウ いわば エ むしろ
- II ア とすれば イ しかし ウ むしろ エ いわば
- III ア むしろ イ いわば ウ とすれば エ しかし
- IV ア しかし イ とすれば ウ むしろ エ いわば
- V ア むしろ イ いわば ウ しかし エ とすれば

問7 傍線部(B)「自然を『自らの直接的な環境として生活する』ことを選んできた」とは、どのようなことが。文中の言葉を使い、五十字以内で説明せよ。

問8 傍線部(C)「実はずっと深刻な事態がある」について、「深刻な事態」を具体的に述べている部分をBの文中から適不足なく抜き出し、最初と最後の五文字で答えよ。

問9 現在われわれは、「自然」に対して相反する二つのかかわり方を持って生活していると作者は考えている。その二つが対比的に示されている箇所をBの文中から抜き出し、解答欄を完成させる形で答えよ。

問10 傍線部(D)「伝統的文化に従って自然とのかかわりを切り結ぶ」とは、どのようなことなのか、Cの文中の言葉を使い、七十字以内で説明せよ。

問11 次に示す文の中から、作者の考えとして正しいものを一つ選び記号で答えよ。

- ア 現在われわれは、「技術関連」を「自らの環境」として生きているが、災害に見舞われ、ライフラインが絶たれると、その価値が身に沁みて実感され、自然に背を向けた日々の生活を反省させられることになるだろう。
- イ 科学技術が飛躍的進歩を遂げて、これまで破壊され汚染されてきた自然環境が回復されれば、われわれは伝統的文化を復活させ、五十年ほど前の暮らしでは当たり前であった「自然と共存」した生活に戻ることが可能となる。
- ウ 現在、われわれの生活環境の中から「自然環境」が急速に姿を消しているが、自然のもつさまざまな脅威や猛威を避けて人間が安全に暮らすためには、仕方のないことであり、そうした点に配慮を欠いた自然の保護・保全は誤りである。
- エ われわれが「自然環境」への配慮を考えるにあたっては、「自然そのものの保護や保全」だけではなく、われわれがこの先「自然環境」とどう向き合い、どのようにかがわっていくのかを、真剣に考えていかなければならない。
- オ われわれの周囲には、「人間活動による自然への影響」に関する多くの情報が溢れているが、それによって、自然に対するわれわれの関心や想いが高められていくことにつながるので、むしろ望ましいことであると考えられる。

※本問題は令和六年四月二十四日に著作権法第六十七条の二第二項の規定に基づき申請を行い、同項の適用を受けて作成されたものです。

国語

問題 次の[A]・[B]の文章を読み、後の問に答えよ。

[A] ある時期、おそらく二十世紀半ば過ぎくらいまで、少年たちの行動範囲内には、原っぱがあり、高台があり、未舗装の道路があり、泥濘^{ぬりぼろ}があった。切り通しの土手のようにほんの数メートルの高さでさえ世界の認識を変えるに十分だったし、ふたんの目線をずらしてみようという行為は、①ある意味で少年としての生活をつづけてゆくために必要不可欠の儀式でもあったから、たいていは誰もが秘密の場所をひとつずつ持っていた。ときにその秘密は仲間のあいだで共有され、週に何度かは学校帰りに立ち寄り、土地の神秘が消え失せていないかどうか、また、その神秘を受け取る力が失せていないかどうかを確認していたものだ。

好みというより実際問題としてそのような場所が少なかったから貴重に感じられたのかもしれないのだが、私の周辺にいた友人たちは、見晴らしのよい、高い土地をいつも探し求めていた。山腹を次々に削って段状に造成されていく建て売り住宅地の、その工事途上のでこぼこを抜け、かろうじて残されている^a木立を縫^ぬっていちばん高いポイントに向かう。毎日のようにみんなであらうついている町をそこから見下ろした時の、不思議な感覚。世界はひとつではないということと、この時期に遊びの中で学んでいるかがどうか、大人になってからの感性領域を決定づける。

谷間と呼べるほどではないけれども、小川の流れる低い聖域や、両脇に家が建ち並んでいる平地では、よくマンガや映画で見た、身をかがめて股のあいだから覗く方法^{のぞ}を試みた。世界の上下を入れ替える過激な転換法だが、自然の高低を生かした世界観の微調整ではないから、あまり長くやっているともまいに襲われそうになる。天地が逆になった瞬間、私たちは宙の間の未熟な創造主となり、空を下に従え、大地を宙に浮かせて、人々から重力を奪うのだ。両手の親指と人差し指を九十度に広げて上下に連結し、長方形の枠を作って世界を切り取ったこともある。両腕を伸ばした状態でこの窓越しの景色を眺め、しかるのちに左右の眼を順番に閉じてみる。左眼を閉じて右眼だけで窓を見るとなにも変わらないのに、その逆にしてみると、私の場合は枠が右にずれて景色をAが^aいへんしてしまう。ずっと後になって、それが利き目の調べ方であることを知った。私の利き目は右だったのだ。両眼で見ているとはいっても、世界の*テフオルトは右眼で構成されていたわけで、少年野球をやっていた頃、右利きなのに左打席に立つ方がボールに当たる確率が高かったのもそのためだと分かった。バットは右手で引き、左手は添えるだけなのに、点と線が交わることで接点が増えたわけである。

指でこしらえた窓は、それぞれ歪み率がちがう。左右の像の重なりもBボセイの幅にもばらつきがあつて、均一ということはありません。それなのに同じ景色を見ていたと表現することは許されるのだろうか。私には分からない。しかし少年たちがその偏りを隠した両の眼で指の窓の向こうに未知の世界を見出そうとしていたことは確かだ。変哲もない通りが突然秘密の場所の重さを得て忘れがたい

ものになっていくのを、彼らは肌で感じていた。②というのも窓をこしらえるのは人間だけではなく、つだからである。夕闇のなかで、ときにはすっかり日が暮れたあとでも、変わりゆく空気のなかに（一）に似たなにかを掴み取ろうとしていたのだ。

ある夏の日、遊び仲間ひとり、転校生が加わった。隣県の山あいの町からやってきた彼は、私たちの奇妙な儀式に立ち会うと、ぼくが生まれた町では指の窓は親指と人差し指で丸にするんだと言って、眼鏡屋のレンズ調整に使うような円を作り、こうすると夜目が利くんだと胸を張った。そんな馬鹿な。嘘か真かを調べるために、盆踊りの晩、仲間たちと闇深い神社の境内に忍び込んで、夜の視力がどの程度が検査したことがある。以前住んでいた町の大人たちは、そうやって、狸や狐や梟や、とにかく、**不気味な**ものを眼で捉えていたと胸を張るので、私たちも適当なところを指差して、あそこにはどんな動物がいるか当ててみると回答を迫った。すると彼は、動じることなく、お化けみたいなものがずくまっっていると断言したのである。指の窓が日常から遠く離れた世界を覗くための穴だとしたら夜に力を**ハギ**するのは当然だが、昼のうちでも不可視の存在と交感するための道具になるのだ。

*安房直子に、「きつねの窓」と題された短編がある。かつて私はこれを、『風と木の歌』（装葉文日本社、一九七二）で読んだ。主人公の「ぼく」が歩き慣れているはずの山で道に迷い、ふと気づくと、いつもの杉林が青い桔梗の花畑になっている。引き返すにはあまりに魅力的な光景だったし、いい風も吹いているので、「ぼく」はそこでひと休みしていくことにした。すると、目の前を白いきつねが横切った。「ぼく」は猟師なのだろうか、鉄砲を持っていてすぐ後を追うのだが、見失ってしまう。そのとき、背後から妙な声が聞こえた。振り向くと《そめもの、ききょう屋》という看板の掛かった店があり、きつねが化けたと賞しき男の子が立っていて、ここでなにか染めていかないと誘う。とくに染めたいものはないと断ると、ならば指を染めましょう、指を染めるのは、とてもすてきなことなのだとなおも勧め、相手の不安を取り除くために自分の手を見せた。

小さい白い両手の、親指と、ひとさしゆびだけが、青くそまっています。きつねは、その両手をよせると、青くそめられた四本のゆびで、ひしがたの窓をつくって見せました。それから、窓を、ぼくの目の上にかざして、「ねえ、ちよこ、のぞいてくらんなさい。」と、たのしそうにいうのです。

しばらく覗いてみると、そのなかにすばらしく白いきつねの姿が見えた。ずっと前に鉄砲で撃たれた母きつねだった。

青で染めるための花として桔梗が使われているのは、それが花言葉で愛を意味するからなのだろうか。物語にはまだ先があるのだが、二十一世紀のいま読み返してみると、この青い指の枠にはやはりあの熱を出さない新種の光を運搬させるようなところがあって、右の描写から体温の有無は察せられないものの、すでに死者たちの棲まう世界に入り込んでいるような気がしてくる。子狐が母狐を

想う物語は、「葛の葉の子別れ」を挙げるまでもなく、古来、数多くの事例があつて、おそろく著者はその定形を踏まえているのだろう。そして一九七〇年代に読んだこの物語を、のちに*柳田國男の『こども風土記』（朝日新聞社、一九四二）を開いたとき、③ 「さうかと名点がいくだらで私は生ず画」したのである。「狐あそび」と題された章に、江戸時代の*『嬉遊笑覧』（一八三〇）の引用として、こんな一節が紹介されていたのだ。

鬼つこの一種に、鬼になりたるを山のおつんと名づけし、引きつれて下に屈み、とち〜*つばな抜〜と言ひつゝ、茅花^{つばな}抜くまねひをしてはてに鬼に向ひ、人差し指と大指とにて輪をつくり、その内より覗き見て、是なにと問くばほうしの玉といふと、皆逃げ去るを鬼追ひかけて捕ふる也

鬼つこのなどの離し文句には、さまざまな地方の言葉が混じる。誰を鬼にするかの鬼決めの言葉を柳田はいくつか紹介しているのだが、鬼を山のおつん、つまり狐さんとして、茅の花を抜く^ひを^ひをする。そのとき、山のおつんである鬼と、遊びに参加している者たちのあいだを画するのは、「人差し指と大指」をつなげた丸い窓だけである。この窓を、視線とともに「是なに」という声が抜けていくことによって遊びが始まるのだ。参加者が窓の向うに見ているのは、じつは異界に住む鬼にほかならなかつたのである。他愛のない遊びのように見えて、そのじつ、逃げていく子どもたちは、下手をすると生死を分ける境界線を越えてしまうことを理解していたにちがいない。

かつて私が土くれや草の葉や鉛筆や自転車のタイヤの*グリスで汚れた指でつくった四角い窓にも、そのような誰のものでもない、ずっと昔から土地に染み込んでいる鬼の恐怖に似た残留磁気が作用していた気がする。安房直子の「ぼく」は、狐の指の「ひしがたの」窓に心を打たれて、みずからも指を染める。しかし、そこに映し出される資格を持つのは、命を奪われた者だけなのだ。時間は止まったまま二度と帰ってこない。失われたものはかりが強く意識されて空虚が増大していくのである。それでもいい。いまがどれほど悲しくても、恐ろしい死と隣り合わせの景色を、四角のなかに、輪のなかに保っていたい。いくら願っても、魔法はつかない。子どもたちにはそれわかつている。所詮、鬼にはかなわないのだ。④ 鬼に会えなくなるというこゝと自体、負けに等しいのだから。

少年たちは一日の終わりに、場所の奇蹟を、そして指の窓の奇蹟を順番に失う。家に帰ってただいまと大声で言い、命じられる前に無意識の状態の手を洗えば、自然の窓枠に塗り込められていた地味な文様も洗ひ流され、清潔な指が出現する。その瞬間、⑤ 世界はふたたび、利き目がもう一方の窓をを正してきて、さびしい初期設定へと戻されてしまつたのである。

（堀江敏幸『戸惑う窓』による）

〔B〕夜の道を歩いている。家々には灯がともって、私は外を歩いていると思っている。進むにつれ、しだいに、道に明るみがでて、人影が見えだし、色彩が浮かびあがる。やがて、店が両側にならび、くだものや、ファッションのショーウィンドウ、音楽、さんざめき。そのあたりを歩くとき私は、内を歩いていると思うのだ。このにぎわいと明るさの「インバージョン」は、空間の内と外との〈反転〉といふ。この現象は、*境界面が誘起する空間効果のもっとも面白い現象の一つである。私は、こうした反転性を住居の中に持ちこもうとした。住居に入れば、ふつう家の中に入ったと感ずる。それを外に出たと感じさせるように演出する。この反転した感覚が、さまざまな生活上の快適さのうえから、現代の住居にとって不可欠な条件であると判断されるからである。十分な日光と明るさ、自由に使える空間、住居内での人と人との十分な距離感、個室の必要性、乾燥した空気、空間のヴォリューム、隣家との不要な「カシニョ」の除去、現代の都市に欠けた「チツシヨ」、ものの片付けやすさ、主婦の生活、子供の生活、なによりも住居の生活の拠点性等々の理由から、快適さが保持されと考えられるからである。こうした条件を満足させようとする、本来なら住居の周辺が持つていなくてはならない都市的な空間が住居の内部に生じてきて、結果として、⑥「さまざまな境界面の効果として内と外との反転が起こる」。空間が反転する現象は、すでに、*アグリットや*エッシャー等の画家たちによって、（Ⅱ）されていた。

住居にこうして持ちこまれる（Ⅲ）性は、住居をさしあたり、「本気にできない」住居にする。生活行為が、一種のふりの行為になる。建築というより、舞台装置に近いのではないだろうか。しかし、そのフィクショナルに思われる行為が、実はリアルなのだ、私は確信する。今日、無数に建てられている住居の形式、日本の伝統からおよそかけ離れながら何畳間という呼称と床の間を持つ哀れな部屋と、あけると隣家の便所が見えるガラス窓と、ソファを置くと立つ場所もなく、調理台の上のキャベツが見えているリビングルームからなる住居形式こそ、実は、（Ⅳ）なのだ。このわかりやすい話、通俗読物の生活を、私たちはたたりアルであると錯覚しているにすぎない。

⑦境界は、その空間性において、絶えざる交換をつながしている。それは人やものの出入りからはじまって、情報の交換、エネルギーの交換などを媒介する。さらには、境界の表層は、たとえば祭の装いのように、聖から俗へ、俗から聖へと空間の意味を入れ替えもする。

しかし、境界論におけるもっとも直接的な交換は、〈反転〉である。内と外との交換である。そのなかで、最も魅力ある反転とは、⑧「現実と構構する世界、フィクショナルな世界との間の反転」である。もし地形的曲面を反転するなら、負の中心すなわち谷は正の中心すなわち稜と置換される。*インターフェイスの手法は、この負の中心であり境界である谷を活性化させ、反転の美学を誘起するための手法なのだ。今日、複雑に組み立てられた現実の境界の図式は、反転が不可能な状態を示しているかに見える。この幾何学的な複雑さは、現実と理想とを入れかえる想像力の活動を禁止するようにはたらく。こうした現実に対して、まず私たちがとるべきは、何が現実であり、何が未来にむけて仮構する虚構であるかを識別する態度であり、それより一歩先に、現実の虚構性を読みとる感覚を身につけるべきなのだ。つまり、現実とは、ある物語にすぎない。ひとつの具体的な空間は、もしこのように言い方が許されるとすれば、たまたま実現されたひとつの建築にすぎない。そして同様にひとつ

の文学であるにすぎない。ほかの建築、ほかの文学もありうるのである。こうして、全現実をふりの世界としてみるとき、巧妙にして美的なふりとおよそ美的でないふりとがあることに気づく。私たちは美的なふりに赴くであろう。これは、実にきわどい表層の論理であると同時に、静かな反転の契機なのだ。美的なるものと、そうでないものを区別する境界を、可視的にするのが文化である。

(原広司『空間〈機能から様相へ〉』による。一部省略あり)

【語注】

- *デフォルト……ここでは初期設定値、工場出荷時値、標準値などの意。
- *安房直子……一九四三年～一九九三年。日本の児童文学作家。
- *柳田國男……一八七五年～一九六二年。日本民俗学の開拓者。
- *『嬉遊笑覧』……江戸時代後期の随筆。生活万般にわたる百科事典的な書物で、江戸風俗を知る有益な資料として知られる。
- *つばな……茅花でチガヤ（茅）の花。ススキと似た植物。
- * 그리스……粘度の高い液状潤滑油。
- *境界面……内と外を分ける壁、聖俗を仕切る鳥居や門、国境など、異質なものを仕切る線とそこに生じる接合面のこと。
- *マグリット……一八九八年～一九六七年。シエールレアリスムの画家。
- *エッシャー……一八九八年～一九六七年。錯覚を用いただまし絵で知られる画家・版画家。
- *インターフェイス……境界面、または境界面に生じる様々な状況と状態。

問1 次の(Ⅰ)・(Ⅱ)・(Ⅲ)の問に答えよ。

(Ⅰ) 波線部A「カイく」・B「ボせイ」・C「ハッギ」に相当する漢字を含むものを、それぞれ次の選択肢から一つ選び記号で答えよ。またD「イネ」・E「カハシミ」・F「サシシミ」を漢字に改めよ。

A 「カイく」

- ア 前言をカイする イ 司令官をカイニする ウ ケイカイ体制に入る
エ カイシンの笑みを浮かべる オ 駅のカイサシ口を通る

B 「ボせイ」

- ア 安全をボシヨウする イ 損失分をボシヨウする ウ 道路をボシヨウする
エ 野球のボシヨを務める オ 相手にシヨウボする

C 「ハッギ」

- ア 軍隊をシギする イ コウギを放つ宝石 ウ エイギを養う
エ ショウギを逃す オ 注意をカシギする

(Ⅱ) 二重傍線部a「木立を縫つて」・b「異ななもの」・c「グニトーショ」の意味として最も適当なものを次の選択肢から一つ選び記号で答えよ。

a 「木立を縫つて」

- ア 木立を突つ切つて イ 木立を避けて通つて ウ 木立を下に足つて
エ 木立をすり抜つけて オ 木立の傍らを通つて

b 「異ななもの」

- ア 価値あるもの イ 面白いもの ウ 興味深いもの エ 気味悪いもの
オ 曖昧なもの

c 「グニトーショ」

- ア 対照的な色彩を用いること イ 色彩が徐々に変化してゆくこと
ウ 装飾的に色彩を用いること エ 色彩が混じり合っていること
オ 同系色の色彩を用いること

(iii) (Ⅰ)・(Ⅱ)に入る語として最も適当なものを次の選択肢から一つ選び、記号で答えよ。

(Ⅰ) ……ア 恐怖 イ 安心 ウ 畏怖 エ 満足 オ 不安

(Ⅱ) ……ア 明示 イ 啓示 ウ 暗示 エ 表示 オ 告示

問2 傍線部①「ある意味で……必要不可欠の儀式でもあった」というのはなぜか。その説明として最も適当なものを次の選択肢から一つ選び、記号で答えよ。

ア 大人になってからの感性の世界を豊かに広げるためには、秘密の場所を仲間と共有して小さな共同体を作り、その共同体が発する神秘性を感じ取ることが必要となるから。

イ 山頂から町を見下ろした時の世界はひとつではないという不思議な感覚や、重力が反転する世界を意図的に創り出すためには、通常の視点から脱却する必要があるから。

ウ 自分の利き目を確認し、見ている像の歪みを知ることが仲間と遊ぶ時には欠かせないものであり、大人になってからも自分の知覚の動く領域を知るために必要だから。

エ 世界の認識を変えるには「ずれ」の感覚が必要であるが、日常では視覚の左右の歪みが修正されてしまっているため、意図的に普段の視線をずらすねばならないから。

オ 仲間意識とその共同体を維持するためには共通の秘密を持つことが必要であり、その秘密から生じる神秘性を感じ取るかどうか遊びの中で重要なことであつたから。

問3 傍線部②「この指の窓から覗いて何も見えなくなるはずであるが、未知なるものは視覚に頼らず何も見えない闇の中でも感じ取ることで、闇の中にも不思議なものを見つけ出そうとしていた」ということ。その説明として最も適当なものを次の選択肢から一つ選び記号で答えよ。

- ア 暗くなれば指の窓から覗いても何も見えなくなるはずであるが、未知なるものは視覚に頼らず何も見えない闇の中でも感じ取ることで、闇の中にも不思議なものを見つけ出そうとしていたということ。
- イ 未知の世界のものは昼の世界には出現せず、もともと夜の闇の中に住むものであるため、昼に指の窓から神秘的なものを感じ取ろうとしても無駄であり、夜こそ窓から覗くにはうざわしかつたということ。
- ウ 昼間なんの変哲もないものが秘密の重みをもってくるのは夜の闇の中なので、昼に見たものと夜に見たものを比べなければその違いがわからず、ものの持つ本当の神秘性を感じることはできないということ。
- エ 地域によっては指の窓の形や覗き方などに違いがあることが分かり、自分たちが普段見ている昼間ではなく夜でも自分たちが見ている通りに見えるかどうか、神秘性があるかどうかを確かめてみたということ。
- オ 少年たちには秘密を共有し仲間意識を強めてゆく時期があり、その秘密共有の手段として、お互いに指の窓の中の未知なる世界を感じ取るという非現実的な遊びに昼夜を問わず没頭していたということ。

問4 傍線部③「そうかと合点がいくかたちで私は生き直したのである」とはどういうことが。その説明として最も適当なものを次の選択肢から一つ選び記号で答えよ。

- ア 少年の頃、指で窓を作り未知の世界を覗いてみようとしていたが、柳田國男が紹介した「狐あそび」から、実は死者たちの棲まう世界であったことが分かり、遊び半分でやっていたことを深く反省したということ。
- イ きつねの青く染めた指の窓から死者の国が見えるという童話は子狐、親狐の類型的な作品と思っていたが、実は子供の鬼ごっこに由来を持ち、自分の少年時代の遊びとは無関係であったことが初めて分かったということ。
- ウ 少年の頃、指で作った窓の中の世界が歪んで見えたのも、柳田國男が紹介した「狐あそび」のように異界に棲むものが実際に存在したために不思議な感覚にとらわれたのかもしれないと改めて恐怖を感じたということ。
- エ きつねの青く染めた指の窓から死者の世界が見えるという童話も、自分が少年時代に指で作った窓から不思議な感覚を得たことも、実は日本古来の狐あそびに源流を持つものであることが初めて分かったということ。
- オ 少年の頃、転校生が作った指の輪と、柳田國男が紹介した「狐あそび」がみごとに一致していたため、少年の日の記憶がまぎまぎと思い浮かび、やはり彼が輪の中に見たのは鬼であったと信じるようになったということ。

問5 傍線部④「鬼に会えなくなるということと自体、負けに等しい」とはどういうことが。その説明として最も適当なものを次の選択肢から一つ選び記号で答えよ。

- ア 鬼に会えなくなるということは、生死を分ける境界線を踏み越えて指の窓の世界のほうに行ってしまう、二度と現実の世界に戻ってこれられなくなる、つまり不慮の死が待っているということ。
- イ 鬼に会えなくなるということは、しだいに子供の持つ感受性や素朴な好奇心が失われ、鬼のいる世界に映し出された、失われたものや神秘的なものを見ることができなくなってしまうということ。
- ウ 鬼に会えなくなるということは、失ってしまったもの、亡くなってしまった者への悲しみが大きくなって空虚感にとらわれて、積極的に神秘や恐怖に感応する力が減退してしまうということ。
- エ 鬼に会えなくなるということは、鬼の国から一人取り残され、子供たちのつながりの輪から外れてしまうことであり、遊びの中から学ぶ協調性や創造性などが経験できなくなるということ。
- オ 鬼に会えなくなるということは、郊外の自然環境や街角の風景が変わり、指の輪の中の世界が消滅したことであり、また時代とともに日本の伝統的な子供の共同体が変質してしまっただけということ。

10

問6 傍線部⑤「世界はただひ、……やみしり初期設定へと戻されてしまうのである」とはどういうことが、五〇字以上六〇字以内で説明せよ。

問7 傍線部⑥「さまざまな境界面の効果として内と外との反転が起こる」とは具体的にはどのような現象か。その説明として最も適当なものを次の選択肢から一つ選び記号で答えよ。

- ア たとえば立方体状の小さな住居空間を集合させて一つの建物を作り、個人のプライバシーを確保するとともに、状況に応じて組み合わせを変えられる機能性が与えられる現象。
- イ たとえば敷地内に泉水を引き込んだ大きな庭園と外部を遮断するような大きな木立を植生させることによって、閉じられてはいるが自然を内包した空間が作り上げられる現象。
- ウ たとえば建物の中央に広い廊下と高い吹き抜けの天井を設置し、その両脇に居住空間を並べることによって、内部空間に街路のような外部の開放性と流動性が与えられる現象。
- エ たとえば可動式の壁面や屋根を用いることにより必要に応じて内部と外部の障壁を取り除き、視野を解放し、外気を取り入れて心理的にも住居空間が拡大する現象。
- オ たとえば窓を縦や横、あるいは極端な上部、下部に細長く切り取り、視覚を制限することによって、逆に外部の見えない部分を暗示させ、内部との接続が強固になる現象。

問8 (Ⅲ)に入る熟語を、これ以降から抜き出して答えよ。また(Ⅳ)に入る言葉として最も適当なものを、次の選択肢から一つ選び記号で答えよ。

(Ⅳ)

- ア 必要が生んだ用意周到なシミュレーション
- イ 伝統が生んだ生活に適応したコミュニティー
- ウ 社会が生んだ説得力あふれるリアリティー
- エ 現実が生んだ利便性に富むアプリケーション
- オ 制度が生んだ繁殖力あふれるフイクション

問9 傍線部⑦「境界は、その空間性において、絶えざる交換をうながしている」とあるが、アの文章でいうと具体的にどのようなことが、七〇字以上八〇字以内で説明せよ。

問10 傍線部⑧「現実と構想する世界、フィクショナルな世界との間の反転」についての次に示す会話を読み、また図1・2を見て、後の(ⅰ)・(ⅱ)・(ⅲ)の間に答えよ。

生徒a……「現実とフィクショナルな世界との反転」とは、具体的になかなかイメージできないのだが、筆者である原広司^{はひろし}氏の設計した「梅田スカイビル」を見ると、二棟のビルが道を挟んで立つ威容はまるで巨大な「門」のようにも見えるし、二棟をつなぐ頭頂部にある空中庭園、また、その中心に開けられた大きな穴は見上げているつもりが、いつの間にか穴の底をのぞき込んでいる感覚に襲われ、穴は異次元に通じているようにも感じられる。

生徒b……まさにこのビルは門が作る聖と俗の境界面になりうるし、頭頂部の穴はAの文章で柳田國男が紹介した、狐あそびの指の輪を思わせるね。筆者がそれを意識していたかどうかはともかく、まさに「①」を体現したものだと言えるんじゃないか。

生徒c……ただ筆者は、今日では「現実の境界の図式は、反転が不可能な状態を示している」と述べているが、これは、境界面が複雑になり、あやふやになると異質性が見えにくくなり、「②」状態になるということなのだろう。

生徒a……だから筆者は、現代のこういう状況においては私たちは「現実の虚構性を読みとる感覚」を身につけておかねばならないと言っている。その理由は、筆者の言う「物語」は一つの選択された「フィクション」であり、建築も設計者のある一つの意図を体現した文学＝物語であり、つまり、ふり＝(舞台)装置であって、その建築＝装置が作る境界と、境界がもたらす交換、反転こそが筆者の意図するものであるが、「③」ために、今、自らのいる現実を知ることが必要になるということなのかな。

生徒b……筆者は最後に「美的なふり」つまり装置としての建築の美醜が問題になり、それを明らかにする、つまり「可視的にするのが文化である」と言っているが、筆者は長年にわたって世界各地の集落を踏査した経験があり、「美的なもの」とは様々な文化の典型が表れているものという経験、知見に基づいているのだろうね。

(ⅰ) 「①」に入る言葉として最も適当なものを次の選択肢から一つ選び記号で答えよ。

- ア 境界の内と外との自由な価値の交換
- イ 境界の内と外との周辺に起きる錯覚
- ウ 境界の内と外との異質な世界の反転
- エ 境界の内と外との差違の明確な識別

(ii) 〔 ② 〕に入る言葉として最も適当なものを次の選択肢から一つ選び記号で答えよ。

- ア 境界の内側の現実と対照的な外側の世界に気づくことができない
- イ 各自の立つ現実の中にとどまり、未来を仮構する意欲を失った
- ウ 価値観の均一化が進み、異質なものを作り出すことが禁止された
- エ 今住んでいる現実こそが理想の生活であると信じ切ってしまう

(iii) 〔 ③ 〕に入る言葉として最も適当なものを次の選択肢から一つ選び記号で答えよ。

- ア 反転や交換を誘起する境界面はあくまでもフィクションとしての「装置」であり、現実の中には存在しない無意味なものである
- イ フィクションとは空虚なものではなく、内部に現実を否定する特殊な時間、空間、価値を備えた次元を異にしたものである
- ウ フィクションにあふれかえった現実の世界に長く居住してしまうとリアルとフィクションの境界が再びあいまいになってしまふ
- エ 反転や交換は異なった二つのものによって起きるが、二者の対照性が認識できていないと反転と交換の現象に気づくことがない

図1・2は次頁

〈図1 梅田スカイビル 全景〉



〈図2 梅田スカイビル 下から見上げる〉



数学

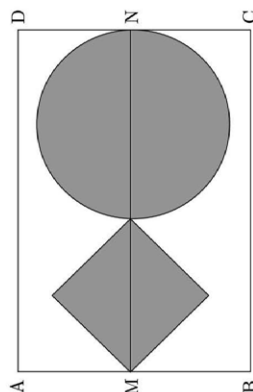
第1問 第4問は必答問題である。第2問、第3問はそれぞれについて1問を選択する問題である。(第1問～第3問の配点は80、第4問の配点は20)

第1問 (必答問題) 次の各問の□に当てはまる数式または数値等を、解答题紙のそれぞれの欄に書きなさい。

問1 次の式を計算せよ。

- (1) $-2a^2b(-abc)^2 = \boxed{\text{ア}}$
- (2) $\frac{x^2+5x}{x-2} \div \frac{x^2+2x-15}{x^2-5x+6} = \boxed{\text{イ}}$
- (3) $-|-3|+|5-6| = \boxed{\text{ウ}}$
- (4) $\sqrt{8}+\sqrt{32}-\sqrt{18} = \boxed{\text{エ}}$

問2 図のような横20 cm、縦15 cmの長方形の画用紙がある。辺AB、CDの中点をそれぞれM、Nとする。正方形の対角線と円が線分MN上にあり、対角線の長さと円の直径の和がMNに等しくなるような正方形と円を考える。このとき、2つの図形の面積の合計が最小となるのは、正方形の対角線の長さが□ cmのときであり、その時の2つの図形の面積の合計は□ cm²である。ただし、円周率はπで表せ。



問3 △ABCにおいて、 $BC = \sqrt{21}$ 、 $AC = 4$ 、 $AB = 5$ のとき、 $\cos A = \boxed{\text{キ}}$ 、△ABCの面積 $S = \boxed{\text{ク}}$ である。

問4 点(2, 5)を通り、直線 $l: 3x+4y-1=0$ に平行な直線の方程式は□である。また、点(2, 5)を通り、直線 l に垂直な直線 m の方程式は□である。そして、直線 l と直線 m の交点の座標は□である。

第2問 (選択問題) 問A、問Bいずれかを選択し、次の□に当てはまる数式または数値等を、解答题紙のそれぞれの欄に書きなさい。

問A A、Bの2チームが野球の試合を行う。各試合でAが勝つ確率は $\frac{1}{3}$ で、引き分けはないものとする。3試合行うとき、Aが2勝1敗となる確率は□である。先に3勝したチームを優勝とする場合、Bが3勝1敗で優勝する確率は□であり、Aが優勝する確率は□である。

問B $AB = 4$ 、 $BC = 3$ 、 $CA = 2$ である△ABCの内心をIとする。AIの延長と辺BCの交点をDとすると、 $BD:DC = \boxed{\text{シ}}$ である。また、BIの延長と辺ACとの交点をEとすると、 $BI:IE = \boxed{\text{ス}}$ であり、△IEAと△IBDの面積の比 $\triangle IEA : \triangle IBD = \boxed{\text{セ}}$ である。

第3問 (選択問題) 問C、問Dいずれかを選択し、次の□に当てはまる数式または数値等を、解答题紙のそれぞれの欄に書きなさい。

問C △OABにおいて、辺OAを2:1に内分する点をP、辺OBを2:3に内分する点をQ、AQとBPの交点をRとする。 $\vec{OA} = \vec{a}$ 、 $\vec{OB} = \vec{b}$ とすると、 $\vec{OR}$ を表すとして□であり、 $\vec{OR}$ を $\vec{a}$ 、 $\vec{b}$ で表すと□である。線分ORの延長と辺ABの交点をDとすると、 $AD:DB$ を求めると□である。

問D $a_1 = 2$ 、 $a_{n+1} = a_n + 3n - 1$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) で定められる数列 $\{a_n\}$ において、第2項は $a_2 = \boxed{\text{ソ}}$ であり、一般項は $a_n = \boxed{\text{タ}}$ である。また、初項から第n項までの和 S_n は $S_n = \boxed{\text{チ}}$ である。

第4問（必答問題） 次の問いの解答を、過程を含めて指定の欄に記述しなさい。

濃度 20% の食塩水 100g がある。これから 10g をくみ捨て、その代わりに 10g の水を加える。このような操作を繰り返すことを考える。このとき、次の問に答えなさい。
ただし、 $\log_{10} 2 = 0.3010$ ， $\log_{10} 3 = 0.4771$ とする。

- (1) この操作を 2 回繰り返したとき、濃度は何パーセントになるか。
- (2) 濃度を 1% 以下にするためには、この操作を何回以上繰り返せばよいか。
- (3) この操作を 50 回繰り返したとき、濃度は何パーセントになるか。次の選択肢

より最も近いものを選びなさい。ただし、解を求める過程も書くこと。

選択肢 (a) 1% (b) 0.1% (c) 0.01% (d) 0.001%

数学

第1問、第4問は必答問題である。第2問、第3問はそれぞれについて1問を選択する問題である。(第1問～第3問の配点は80、第4問の配点は20)

第1問 (必答問題) 次の各問の□に当てはまる数式または数値等を、解答题紙のそれぞれに書きなさい。

問1 次の式を計算せよ。

(1) $5a^2b^4 \times (-ab)^2 = \boxed{ア}$

(2) $1 + \sqrt{0.0121} = \boxed{イ}$

(3) $(2\sqrt{2} + 1)(\sqrt{6} - 4\sqrt{3}) = \boxed{ウ}$

(4) $\sin 120^\circ \tan 150^\circ = \boxed{エ}$

問2 実数 x, y が $x + y = 1$ および $x \geq 0, y \geq -1$ を満たすとき、 x のとり得る値の範囲は□オ□であり、 xy の最大値は□カ□であり、最小値は□キ□である。

問3 $\triangle ABC$ において、 $\angle BAC = 30^\circ$ 、 $AC = 15$ 、 $AB = 15\sqrt{3}$ のとき、 $BC = \boxed{ク}$ 、 $\triangle ABC$ の外接円の半径 $R = \boxed{ケ}$ である。

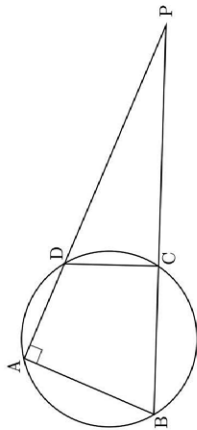
問4 $\sin \theta - \cos \theta = a$ (a は定数) とおくとき、次の値を a を用いて表せ。

(i) $\sin \theta \cos \theta = \boxed{コ}$ 、(ii) $\sin \theta + \cos \theta = \boxed{サ}$ 、(iii) $\sin^3 \theta - \cos^3 \theta = \boxed{シ}$

第2問 (選択問題) 問A、問Bいずれかを選択し、次の□に当てはまる数式または数値等を、解答题紙のそれぞれの欄に書きなさい。

問A 5つの数字0, 1, 2, 3, 4のうちの異なる4個を並べるとき、4桁の自然数は全部で□ス□個あり、そのうち偶数は□セ□個である。また、2130よりも大きい自然数は□ソ□個である。

問B 次の図のように、円に内接する四角形ABCDがある。直線ADと直線BCの交点をPとし、 $DP = 13$ 、 $\angle BAP = 90^\circ$ 、 $\widehat{BC} = 2\widehat{CD}$ とする。このとき、 $CD = \boxed{ス}$ 、 $BC = \boxed{セ}$ であり、 $AD = \boxed{ソ}$ である。



第3問 (選択問題) 問C、問Dいずれかを選択し、次の□に当てはまる数式または数値等を、解答题紙のそれぞれの欄に書きなさい。

問C 2つのベクトル $\vec{a}, \vec{b}$ について、 $|\vec{a}| = 1$ 、 $|\vec{b}| = 3$ 、 $|\vec{a} - \vec{b}| = \sqrt{7}$ のとき、内積 $\vec{a} \cdot \vec{b} = \boxed{タ}$ であり、 $\vec{a}$ と $\vec{b}$ のなす角 θ ($0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$) は $\theta = \boxed{チ}$ である。また、実数 t の値が変化するとき、 $\vec{a} + t\vec{b}$ の大きさ $|\vec{a} + t\vec{b}|$ が最小となるのは $t = \boxed{ツ}$ のときである。

問D 2から順に偶数を並べて、下のように1個、3個、5個、7個、……となるように群に分け、順に第1群、第2群、第3群、第4群、……とする。

$$2 \mid 4 \ 6 \ 8 \mid 10 \ 12 \ 14 \ 16 \ 18 \mid 20 \dots$$

このとき、第6群の最初の数は□タ□、第 k 群の最後の数は□チ□であり、2024は第□ツ□群に含まれる数である。

第4問（必答問題） 次の問いの解答を、過程を含めて指定の欄に記述しなさい。

- (1) 関数 $f(x) = x^3 - 6x^2 + 9x$ の増減表を書き、グラフをかきなさい。
- (2) a を正の定数とすると、関数 $f(x) = x^3 - 6x^2 + 9x$ の区間 $0 \leq x \leq a$ における最大値を求めなさい。
- (3) b を定数とすると、3次方程式 $x^3 - 6x^2 + 9x - b = 0$ の異なる実数解の個数は、定数 b の値によってどのように変わるか調べなさい。

第1問

- A (1) 5 (2) 2 (3) 1 (4) 3 (5) 4
 B (1) $2 \rightarrow 4 \rightarrow 3 \rightarrow 1$ (2) $1 \rightarrow 4 \rightarrow 2 \rightarrow 3$
 C (1) 1 (2) 4 (3) 2 (4) 4 (5) 1 (6) 2 (7) 4 (8) 3 (9) 1 (10) 1
 (11) 3 (12) 4 (13) 2 (14) 2 (15) 1 (16) 2
 D (1) 2 (2) 1

第2問

- A (1) 3 (2) 4 (3) 2 (4) 4 (5) [1] 4 [2] 1 (6) [1] 3 [2] 1
 B (1) 3 (2) 4 (3) 4 (4) [a] 9 [b] 7 [c] 2 [d] 5
 (5) [1] 3 [2] 3 (6) [1] 1 [2] 3 [3] 2

(7) (解答例) 最後に「微笑めば世界も微笑む」という有名な曲の歌詞は、疑いもない真実であるだろう。

(8) (解答例) The advantage of taking classes online is that you don't need to travel to class, so you can save time. Some people find it easier to concentrate at home, too. However, it is stressful if you don't have a good internet connection. Also, it's more difficult to ask your classmates questions, and it can be hard to make friends.

第1問

- A (1) 3 (2) 5 (3) 1 (4) 4 (5) 2
 B (1) $4 \rightarrow 2 \rightarrow 1 \rightarrow 3$ (2) $3 \rightarrow 1 \rightarrow 2 \rightarrow 4$
 C (1) 3 (2) 4 (3) 1 (4) 3 (5) 4 (6) 4 (7) 4 (8) 2 (9) 1 (10) 2
 (11) 1 (12) 4 (13) 4 (14) 3 (15) 1 (16) 3
 D (1) 3 (2) 4

第2問

- A (1) 2 (2) 2 (3) 4 (4) 3 (5) [1] 1 [2] 2 (6) [1] 1 [2] 3
 B (1) 1 (2) 4 (3) 4 (4) [a] 6 [b] 2 [c] 1 0 [d] 1
 (5) [1] 1 [2] 3 (6) [1] 1 [2] 3 [3] 2

(7) (解答例) 近年、新しい、かつ、わくわくするような苔の利用法が開発されている。

(8) (解答例) I would like to live in one place for a long time because it can be easier to keep making new friends. Also, I can get to know one area really well and learn about the history and culture deeply.

(解答例) I would like to live in many different places. By moving often, I can see and learn a lot of new things and meet interesting people. I won't feel bored as there will always be something new to find.

国語 総合型選抜入学試験[併願型] 解答

- 問1 ①こしょう ②生殖 ③過疎 ④びくう ⑤維持 ⑥効率 ⑦促進 ⑧志向 ⑨隔絶 ⑩喪失
- 問2 共生
- 問3 ①人々の話題にのぼり、広く知られること。 ②オ
- 問4 aウ bア cエ dオ eイ
- 問5 [最初] 自然環境の[最後] が謳われる・[最初] われわれの[最後] りつつある
- 問6 V
- 問7 自然のもつさまざまな脅威や猛威から逃れるため、自然からできるかぎり逃避して生活しようとしてきたこと。
- 問8 [最初] 自分ひとり [最後] になっている
- 問9 自然をすっかり締め出し、技術関連の中にがっかりと組み込まれ、自然に背を向けて生き「自然」に対する関心をも大いに抱いていること
- 問10 昔の人々が自然とのかかわりの中で育んだ伝統的文化を踏まえ、自然を利用したり、自然の恵みや自然のもつ人間にとっての価値を享受したりすること。
- 問11 エ

国語 一般選抜入学試験[前期・専願型] 解答

- 問1 (i) Aオ Bイ Cア D真似 E干渉 F秩序
(ii) aエ bエ cイ
(iii) (I)ウ (II)ア
- 問2 オ
- 問3 ア
- 問4 エ
- 問5 イ
- 問6 世界が異なって見える不思議な感覚や神秘性が失われ、日常の感覚に覆われた何の変哲もないつまらない現実へと戻ってしまうこと。
- 問7 ウ
- 問8 Ⅲ虚構 Ⅳオ
- 問9 指で窓を作る日常の遊びの中で子供たちは窓の向こうに未知の世界や異界の鬼を感じていたことや、童話の指の窓の中にも死者たちの世界が映し出されていたということ。
- 問10 (i)ウ (ii)ア (iii)エ

■ 第1問

問1 ア $-2a^4b^3c^4$ イ x ウ -2 エ $3\sqrt{2}$

問2 オ $\frac{20\pi}{2+\pi}$ カ $\frac{200\pi}{2+\pi}$

問3 キ $\frac{1}{2}$ ク $5\sqrt{3}$

問4 ケ $3x+4y-26=0$ コ $4x-3y+7=0$ サ $(-1,1)$

■ 第2問

問A シ $\frac{2}{9}$ ス $\frac{8}{27}$ セ $\frac{17}{81}$

問B シ $2:1$ ス $7:2$ セ $4:7$

■ 第3問

問C ソ $\frac{2}{3}\vec{a}$ タ $\frac{6}{11}\vec{a} + \frac{2}{11}\vec{b}$ チ $1:3$

問D ソ 4 タ $\frac{3}{2}n^2 - \frac{5}{2}n + 1$ チ $\frac{1}{2}n(n^2 - n + 4)$

■ 第4問

(1) $20 \cdot 0.9^2 = 20 \cdot 0.81 = 16.2$
 $\therefore 16.2\%$

(2) n 回目で1%以下とする
 $20 \cdot 0.9^n < 1$
 $\log_{10} 20 + n \log_{10} \frac{9}{10} < 0$
 $\log_{10} 2 + \log_{10} 10 + n(2 \log_{10} 3 - \log_{10} 10) < 0$
 $0.3010 + 1 + n(0.9542 - 1) < 0$
 $1.301 < 0.0458n$
 $28.4 < n$
 $\therefore 29$ 回以上

(3) $20 \cdot 0.9^{50}$ の対数値を求める。
 $\log_{10} 2 + 1 + 50 \log_{10} \frac{9}{10}$
 $= 1.301 + 50(0.9542 - 1)$
 $= -0.989$
 濃度を $x\%$ として
 $\log_{10} x = -0.989$
 $x = 10^{-1}$ に近いので、(b)0.1% くらいである。

■ 第1問

問1 ア $5a^4b^6$ イ 1.11 ウ $-7\sqrt{6}$ エ $-\frac{1}{2}$

問2 オ $0 \leq x \leq 2$ カ $\frac{1}{4}$ キ -2

問3 ク 15 ケ 15

問4 コ $\frac{1-a^2}{2}$ サ $\pm\sqrt{2-a^2}$ シ $\frac{3}{2}a - \frac{a^3}{2}$

■ 第2問

問A ス 96 セ 60 ソ 63

問B ス 5 セ $5\sqrt{3}$ ソ $\frac{60\sqrt{3}-25}{13}$

■ 第3問

問C タ $\frac{3}{2}$ チ 60° ツ $-\frac{1}{6}$

問D タ 52 チ $2k^2$ ツ 32

■ 第4問

(1) $f(x) = x^3 - 6x^2 + 9x$

$f'(x) = 3x^2 - 12x + 9$

$f'(x) = 0$ をとくと

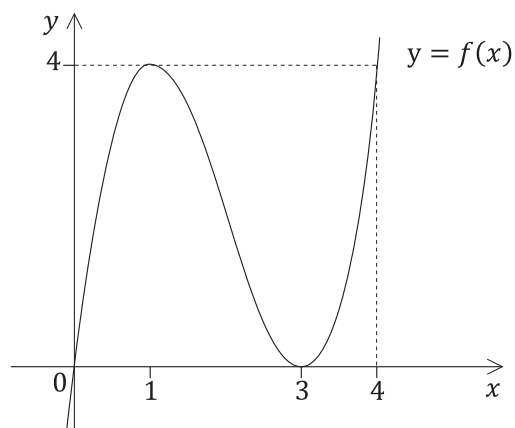
$x = 1, 3$ で $f'(x) = 0$

$(x-1)(x-3) = 0$

$f(1) = 4$

$f(3) = 0$

x	...	1	...	3	...
$f'(x)$	+	0	-	0	+
$f(x)$	↗	4 極大	↘	0 極小	↗



(2) $f(x) = 4$ を解く

$$x^3 - 6x^2 + 9x - 4 = 0$$

$$(x-1)(x^2 - 5x + 4) = 0$$

$$(x-1)^2(x-4) = 0$$

$$x = 1, 4 \text{ で } f(x) = 4$$

グラフより

$$0 < a < 1 \text{ のとき最大値は } f(a) = a^3 - 6a^2 + 9a$$

$$1 \leq a \leq 4 \text{ のとき最大値は } 4$$

$$4 < a \text{ のとき最大値は } f(a) = a^3 - 6a^2 + 9a$$

(3) 与式は $x^3 - 6x^2 + 9x = b$ となるので

異なる実数解の個数は曲線 $y = f(x)$ と直線 $y = b$ の共有点の個数と一致する。

グラフより

$$b < 0 \text{ のとき、解は1個}$$

$$b = 0, b = 4 \text{ のとき、解は2個}$$

$$0 < b < 4 \text{ のとき、解は3個}$$

$$4 < b \text{ のとき、解は1個}$$

オープンキャンパスに参加しよう！

2024年 7月27日(土)・28日(日)

合格者である在学生や教員と話ができる「相談コーナー」や、入試の対策講座、入試参考作品の展示など入試の準備としても、とても役立つイベントです。この機会をお見逃しなく！



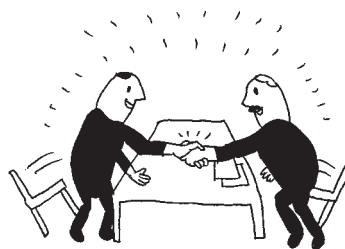
※実施内容は変更になる場合がありますので、必ず右のQRコードから大学HPをご覧ください。



進学相談会

開催場所や日程は大学HPをチェック！

進学相談会では相談コーナーのほか、さまざまな資料の配布を行います。また、美術系大学のみの相談会場では入試参考作品の展示も行います。保護者の方もぜひご来場ください。



@tuad と友だちになろう！

オープンキャンパスなどのイベント最新情報をはじめ、高校生・受験生の皆さんに役立つさまざまな情報をいち早くお届け！

LINEアプリの友だちタブを開き、画面右上にある友だち追加ボタン＞[ID検索]をタップして、登録してください。

2024年度 入学試験問題・参考解答集
発行：2024年5月

東北芸術工科大学 入試課
〒990-9530 山形県山形市上桜田3-4-5
TEL：023-627-2011 FAX：023-627-8160
〔 高校生・受験生 専用ダイヤル 〕
TEL：☎0120-27-8160 FAX：☎0120-57-2154